

Microsoft.AB-730.v2026-08-05.q83

試験コード：	AB-730
試験名称：	AI Business Professional
認証ベンダー：	Microsoft
無料問題の数：	83
バージョン：	v2026-08-05
ページの閲覧量：	113
問題集の閲覧量：	1049
https://www.jpnsshiken.com/shiken/Microsoft.AB-730.v2026-08-05.q83.html	

質問: 1

Microsoft 365 Copilotに、Web上の情報に基づいてレポートを作成するよう依頼します。

回答を検証すると、一部の情報が架空のものであることが判明する。

これは何の一例ですか？

- A. ディープフェイク
- B. 製造
- C. 過度の依存
- D. 即時注射
- E. バイアス

正解: [\(正解を表示します\)](#)

Microsoft 365 Copilot では、生成されたレポートに、もっともらしく聞こえるものの架空の情報や事実と異なる情報が含まれている場合、それを主に 「幻覚」と呼びます。技術的な議論では、詳細を捏造する行為を説明するために 「捏造」などの用語が使われることもありますが、この現象を表す業界標準用語は 「幻覚」です。

これらのエラーの主な特徴は以下のとおりです。

幻覚 AIが提供されたデータや現実世界の事実に基づかないコンテンツを生成する場合に発生し、一見筋が通っているように見えるが、実際には全く不正確であることが多い。

*-> 捏造された回答: モデルは、情報源から特定の情報が不足している場合、架空の数字、日付、または名前で 「空白を埋める」ことがあります。

非公式コンテンツ :マイクロソフトはこの用語を、ウェブ情報や社内文書など、接続されたデータソースと一致しない情報を指すために使用しています。

虚構形成 AIがデータ不足の際に実行する、創造的な 「ギャップ埋め」プロセスを説明するために用いられる、別の比喻表現。

正しくない：

[Aではない]

ディープフェイクとは、画像、動画、音声録音など、実在の人物の容姿や声を模倣するように操作された合成メディアを指します。これらは通常、人を欺いたり誤解させたりする目的で意図的に作成されます。

[注記]

バイアスとは、AIが意図せずして、学習データに含まれる有害な固定観念、社会的不平等、偏見を反映、強化、増幅するような出力を生成する傾向を指す。

Copilotは膨大な量のインターネットテキストとユーザーデータに基づいて学習された生成型AIツールであるため、意図せず特定の視点、文化、または人口統計に偏ったコンテンツを生成してしまう可能性がある。

参照：

<https://www.crmsoftwareblog.com/2026/02/speak-ai-fluently-a-complete-guide-to-understanding-microsoft-365-copilot-terminology/>

質問: 2

あなたはマーケティングアシスタントとして、上司との予算会議の準備をしています。
どのマーケティングチャネルが最高の投資対効果 (ROI) をもたらすかを理解するには、過去1年間の主要な支出とパフォーマンスの傾向を評価する必要があります。
目標を達成するために、Microsoft 365 Copilot で何を使用すればよいですか？複数の選択肢で目標を達成できる可能性があります。最適な回答を選択してください。

- A. アナリストエージェント
- B. チャット
- C. 研究エージェント
- D. ノート

正解: A (コメントを发表する)

支出とパフォーマンスの傾向を評価し、ROIを決定することは、構造化された分析タスクです。Microsoft 365 Copilot のアナリスト エージェントは、定量分析ワークフロー向けに設計されています。テーブルの解釈、データセットの分析、時系列トレンドの特定、指標 (ROI など) の計算、そして結果の明確な表示 (多くの場合、グラフや要約されたインサイトを含む) が可能です。そのため、マーケティング チャネルを比較し、昨年のデータに基づいてどのチャネルが最も高いリターンをもたらしているかを把握したい場合に最適です。

チャット オプションB)は、質問をブレインストーミングしたり、結果を説明したりするのに役立ちますが、高度な数値分析専用には設計されていません。リサーチエージェント オプションC)は、情報源から情報を収集 統合し、研究スタイルの出力を生成することに最適化されており、内部パフォーマンスデータに対するROI計算は行いません。ノートブック オプションD)は、ファイルを整理したり、関連する会話間で共有する参照資料を保持したりするのに役立ちますが、それ自体は分析を実行しません。分析機能を持つエージェントが別途必要になります。

したがって、支出とパフォーマンスの傾向を評価し、ROIを計算するための最良の選択肢は、アナリストエージェントです。

質問: 3

あなたは、Microsoft Teamsを含むMicrosoft 365アプリとサービスを利用するビジネスユーザーです。職場アカウントをお持ちです。
会議を円滑に進めるために、Microsoft 365 Copilot を利用したいと考えているのですね。
以下の各記述について、正しい場合は「はい」を選択してください。そうでない場合は「いいえ」を選択してください。

注：正解ごとに1ポイントが加算されます。

Answer Area		
Statements	Yes	No
Copilot can answer questions about Teams meetings that you are NOT invited to.	☐	☐
Copilot can provide summaries and answer questions about chat messages, channel posts, and Teams meetings.	☐	☐
Copilot can provide a summary of all the upcoming Teams meeting details you are invited to next week.	☐	☐

正解:

Answer Area		
Statements	Yes	No
Copilot can answer questions about Teams meetings that you are NOT invited to.	☐	☒
Copilot can provide summaries and answer questions about chat messages, channel posts, and Teams meetings.	☒	☐
Copilot can provide a summary of all the upcoming Teams meeting details you are invited to next week.	☒	☐

質問: 4

あなたは小規模コンサルティング会社のプロジェクトコーディネーターです。

あなたは、顧客とのコミュニケーションの追跡、プロジェクトのスケジュール管理、および社内関係者向けの週次進捗状況報告書の作成を担当します。

あなたはMicrosoft 365 Copilotライセンスをお持ちです。

プロジェクトのマイルストーンを監視したり、クライアントからのメールにフォローアップしたり、週次サマリーレポートを作成したりするために、エージェントを作成します。

誰とエージェントを共有できますか？

- A. Microsoft Teams チャンネルのメンバーのみ
- B. 有効なメールアドレスをお持ちの方
- C. 組織内の人々、および個人のMicrosoftアカウントを持つ人々
- D. 組織内の人だけ

正解: ([正解を表示します](#))

Microsoft 365 Copilot エージェントは、Microsoft のセキュリティ、コンプライアンス、および ID 境界内で動作します。

365テナント。Microsoft 365 Copilotアプリで作成されたカスタムエージェントは、組織のポリシー、ロールベースのアクセス制御、およびMicrosoft Entra ID認証によって管理されます。

Microsoft AI Business Professionalのガイダンスによると、Copilotエージェントは企業での利用を想定して設計されており、管理者がより広範な共有機能を設定しない限り、組織内で共有されます。セキュリティ、データ保護、およびコンプライアンス要件のため、個人のMicrosoftアカウントや任意のメールアドレスとの外部共有はデフォルトではサポートされていません。

このシナリオでは、エージェントが顧客メール、プロジェクトのマイルストーン、内部レポートなどの組織データとやり取りするため、アクセスは同一テナント内の認証済みユーザーに限定する必要があります。これにより、機密性の高いビジネス情報が保護され、データアクセスが既存の権限を尊重することが保証されます。

したがって、エージェントは組織内のユーザーとのみ共有できるため、選択肢Dが正解となります。

質問: 5

Microsoft 365 Copilot アプリでは、テンプレートを使用してエージェントを作成します。

以下の各記述について、正しい場合は「はい」を選択してください。そうでない場合は「いいえ」を選択してください。

注：正解ごとに1ポイントが加算されます。

Answer Area

Statements	Yes	No
You can share the agent with external users.	☐	☐
You can choose which knowledge sources the agent can use.	☐	☐
You can share the agent with users in your organization.	☐	☐

正解:

Answer Area

Statements	Yes	No
You can share the agent with external users.	☐	☒
You can choose which knowledge sources the agent can use.	☒	☐
You can share the agent with users in your organization.	☒	☐

質問: 6

ホットスポットに関する質問

以下の各記述について、正しい場合は「はい」を選択してください。そうでない場合は「いいえ」を選択してください。

注：正解ごとに1ポイントが加算されます。

Answer Area

Statements	Yes	No
Agents that you create in the Microsoft 365 Copilot app are shared automatically with users in your organization.	☐	☐
If you create an agent in the Microsoft 365 Copilot app, you can interact with the agent by using Microsoft Teams.	☐	☐
If you create an agent in the Microsoft 365 Copilot app and share the agent with a user, the user can modify the agent instructions.	☐	☐

正解:

Answer Area

Statements

Agents that you create in the Microsoft 365 Copilot app are shared automatically with users in your organization.

If you create an agent in the Microsoft 365 Copilot app, you can interact with the agent by using Microsoft Teams.

If you create an agent in the Microsoft 365 Copilot app and share the agent with a user, the user can modify the agent instructions.

Yes

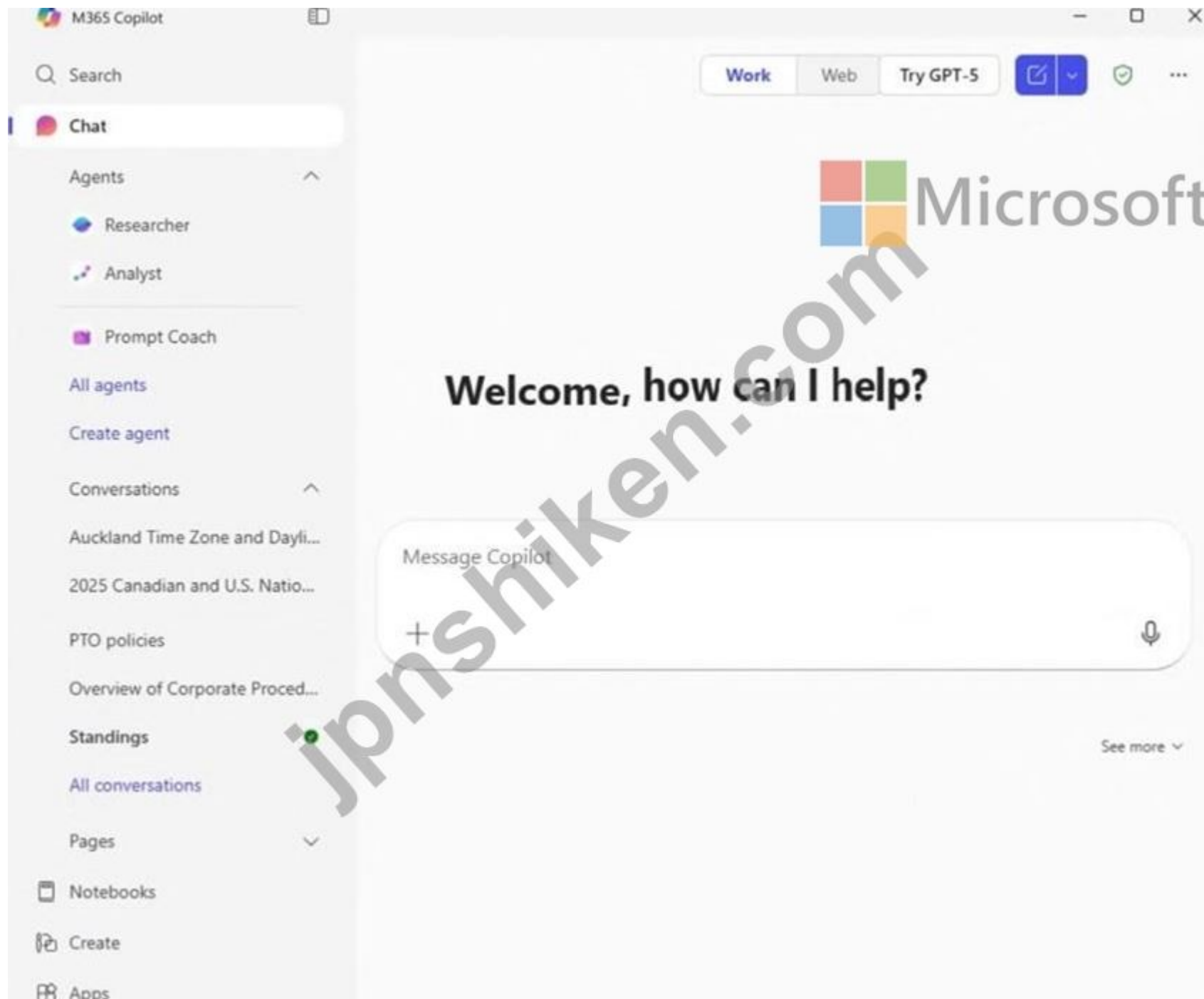
☐

No

☒☒☐☐☒

質問: 7

次の図に示すように、Microsoft 365 Copilot を開きます。



順位に関する会話から、どのようなことが推測できますか？

- A. この会話には匿名データのみが含まれています。
- B. 会話には検証済みの回答が含まれています。
- C. 会話がノートブックに追加されました。
- D. 会話には予定されたプロンプトが含まれています。
- E. 会話が共有されました。

正解: ([正解を表示します](#))

緑色の盾のアイコンが表示されます。

Microsoft 365 Copilotアプリのインターフェースでは、シールドアイコンはチャットウィンドウの右上隅にある緑色のシールドです。

このアイコンに関する主な詳細は以下のとおりです。

機能 :これは、エンタープライズデータ保護 (EDP) または商用データ保護が有効になっていることを示します。つまり、チャット、プロンプト入力、およびデータは保護され、基盤となるAIモデルのトレーニングには使用されません。

外観 : 緑色の盾のアイコンで、時には緑色の塗りつぶしの形状として表示されることもあり、新しいチャット」ボタンやユーザープロフィールアイコンの横によく配置されています。

操作方法 : 緑色の盾のアイコンにカーソルを合わせるかクリックすると、会話に商用データ保護が適用されることを確認するメッセージが表示されます。

背景 :これは、職場または学校のアカウント (Microsoft Entra ID) でログインしていることを示します。このアイコンが表示されていない場合は、データ保護機能が同等ではないCopilotの一般公開版を使用している可能性があります。

場所 :2024年初頭より、このアイコンはユーザーインターフェースにおける従来のテキストベースの「保護済み」ラベルに取って代わりました。

参照 :
<https://m365admin.handsontek.net/updates-to-the-microsoft-copilot-for-microsoft-365-user-interface>

質問: 8

あなたは、自社のマーケティングチーム向けに、Microsoft 365 Copilot アプリでカスタムエージェントを作成しています。このエージェントは、コピー、ロゴ、アートワークなどのマーケティング資料を作成するために使用されます。エージェントには何を追加すべきでしょうか？複数の選択肢で目的を達成できる可能性があります。

最も適切な答えを選択してください。

A. コードインタープリタ

B. 画像ジェネレーター

C. 提案されたプロンプト

D. テンプレート

正解: (正解を表示します)

Microsoft 365 Copilot で、コピーライティングとビジュアルアセット (ロゴやアートワーク) の両方を扱うカスタムマーケティングエージェントを作成するには、次の手順に従ってエージェントを設定し、画像生成機能を有効にします。

1. マーケティングエージェントを構築する

このエージェントは、Microsoft Copilot Studio または Microsoft 365 Copilot アプリ内の Agent Builder を使用して直接構築できます。

目的を定義する [説明] タブを使用して、エージェントの用途をビルダーに伝えます (例 :「ソーシャルメディアのコピー、ブログ記事を作成し、ブランドに一貫性のあるロゴやアートワークを作成するマーケティングアシスタント」)。

トーンを設定する :エージェントに、「プロフェッショナルでありながら創造的であること」や「エネルギーで現代的であること」など、具体的なブランドガイドラインに従うよう指示する。

知識を追加する :ブランドキット、過去の成功事例、スタイルガイドなどを知識ソースとしてアップロードすることで、生成されるコピーやビジュアルが既存のブランディングと一致するようにします。

*-> 2. 画像ジェネレーターを有効にする

エージェントがロゴやアートワークを生成できるようにするには、エージェントの設定で画像生成機能を明示的に有効にする必要があります。

エージェントビルダーを使用する場合 :エージェントの「設定」タブに移動します。

機能の切り替え [機能] セクションまでスクロールし、[画像の作成] の横にあるスイッチを切り替えます。

技術情報 :Microsoft 365 Agents Toolkit を使用してエージェントを構築する場合は、マニフェスト ファイルの capabilities プロパティに GraphicArt の値を追加する必要があります (バージョン 1.2 以降が必要です)。

3. マーケティング資料を作成する

参照 :
<https://learn.microsoft.com/en-us/microsoft-365-copilot/extensibility/image-generator>

質問: 9

Microsoft 365 Copilotで、プロジェクトレポートのドラフト作成を支援するプロンプトを作成します。
プロンプトがCopilotプロンプトギャラリーで利用可能である必要があります。
まず最初に何をすべきでしょうか？

- A. ノートを作成します。
- B. 薬剤を追加する。
- C. ページを作成します。
- D. プロンプトを実行します。

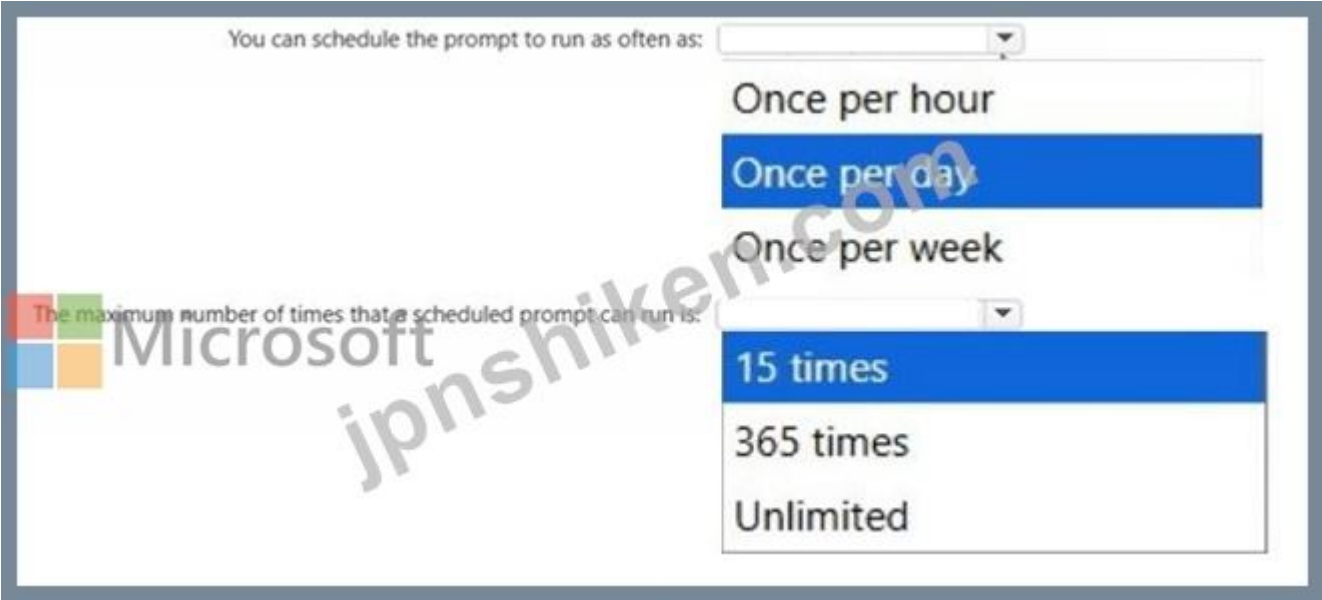
正解: [\(正解を表示します\)](#)

Microsoft 365 Copilot プロンプト ギャラリーにカスタム プロンプトを追加するには、チャットにプロンプトを入力し、応答の後に表示される 「プロンプトを保存」 (ブックマーク)アイコンをクリックして、後でできるようにタイトルを付けます。
チャットペインの 「プロンプトを表示」アイコンからギャラリーにアクセスして、保存したプロンプトを管理したり共有したりできます。

参照 :
<https://www.youtube.com/watch?v=BkjK2ZISS1A>

質問: 10

Microsoft 365 Copilot のプロンプト スケジュール機能には、どのような 2 つの制限がありますか？回答するには、回答領域で適切なオプションを選択してください。
注：正解ごとに1ポイントが加算されます。



正解:

You can schedule the prompt to run as often as:

Once per hour

Once per day

Once per week

The maximum number of times that a scheduled prompt can run is:

15 times

365 times

Unlimited

質問: 11

ホットスポットに関する質問

文を正しく完成させる選択肢を選びなさい。

Answer Area

The Common Data Model

Enterprise data protection (EDP)

Sensitivity labels

Zero Trust

in Microsoft 365 Copilot ensures that business data stays within a Microsoft 365 tenant and is **NOT** used to train AI models.

Microsoft

正解:

Explanation:

ボックス : 企業データ保護 (EDP)

Microsoft 365 Copilot のエンタープライズ データ保護 (EDP) は、組織の機密情報を保護するために設計された、セキュリティとプライバシーに関する一連の取り組みです。EDPが提供する主な保護機能は以下のとおりです。

AIトレーニングは行われません :ユーザーの指示、Copilotの応答、およびMicrosoft Graph経由でアクセスされるデータ (メール、ファイル、チャットなど)は、Microsoftの基盤となる大規模言語モデル (LLM)のトレーニングには使用されません。

テナント分離 :お客様のデータはMicrosoft 365サービスの境界内に留まり、他の組織のデータから論理的に分離されます。

アクセス許可を尊重します :Copilotは組織の既存のアクセス制御とMicrosoft Purviewの機密性ラベルを継承するため、ユーザーは既にアクセス権限が付与されているデータのみを表示できます。

コンプライアンス基準 :GDPR、ISO/IECなどの主要な規制基準に準拠しています。

27018、およびマイクロソフトのデータ保護補足条項 (DPA)。

安全なウェブ検索 :Bing経由でウェブ検索を使用する場合でも、検索クエリは匿名化され、プライバシーを保護するために個別に処理されます。

質問: 12

Microsoft 365 Copilot ノートブックを作成し、Microsoft SharePoint サイトから Process.docx という名前のファイルをリファレンスとして追加します。

昨日、あるユーザーがSharePointサイト上のProcess.docxファイルを更新しました。

ノートブックでチャットをするとどうなりますか？

A. チャットでは、Process.docx のオリジナルバージョンのみが参照されます。

B. チャットでは、Process.docx の最新バージョンが参照されます。

C. チャットでは Process.docx の両方のバージョンが参照されます。

正解: ([正解を表示します](#))

Microsoft SharePoint サイトのファイルが Microsoft 365 Copilot ノートブックに参照として追加されると、Copilot はドキュメントをコピーするのではなく、リンクを作成します。そのため、プロンプトが再度実行されると、Copilot は自動的にファイルの最新バージョンを読み込み、更新内容が反映されます。

参照 :

<https://support.microsoft.com/en-us/topic/how-microsoft-365-copilot-notebooks-works-4071d73d-8bdd-478f-8968-8dc1d7c3d43e>

質問: 13

Microsoft 365 Copilot を使用している際に、Web サイトからコンテンツが返されます。

ウェブサイトを見つけるために使用された正確な検索クエリを確認する必要があります。

何を使用すべきですか？回答するには、回答欄で適切な選択肢を選んでください。

Answer Area

Today

Give me the current temperature in Ghana. Don't be verbose. Just the temp.

Copilot ⓘ

83°F in Accra, Ghana ¹.

Sources 

Citations

¹  Weather Information
a.msn.com

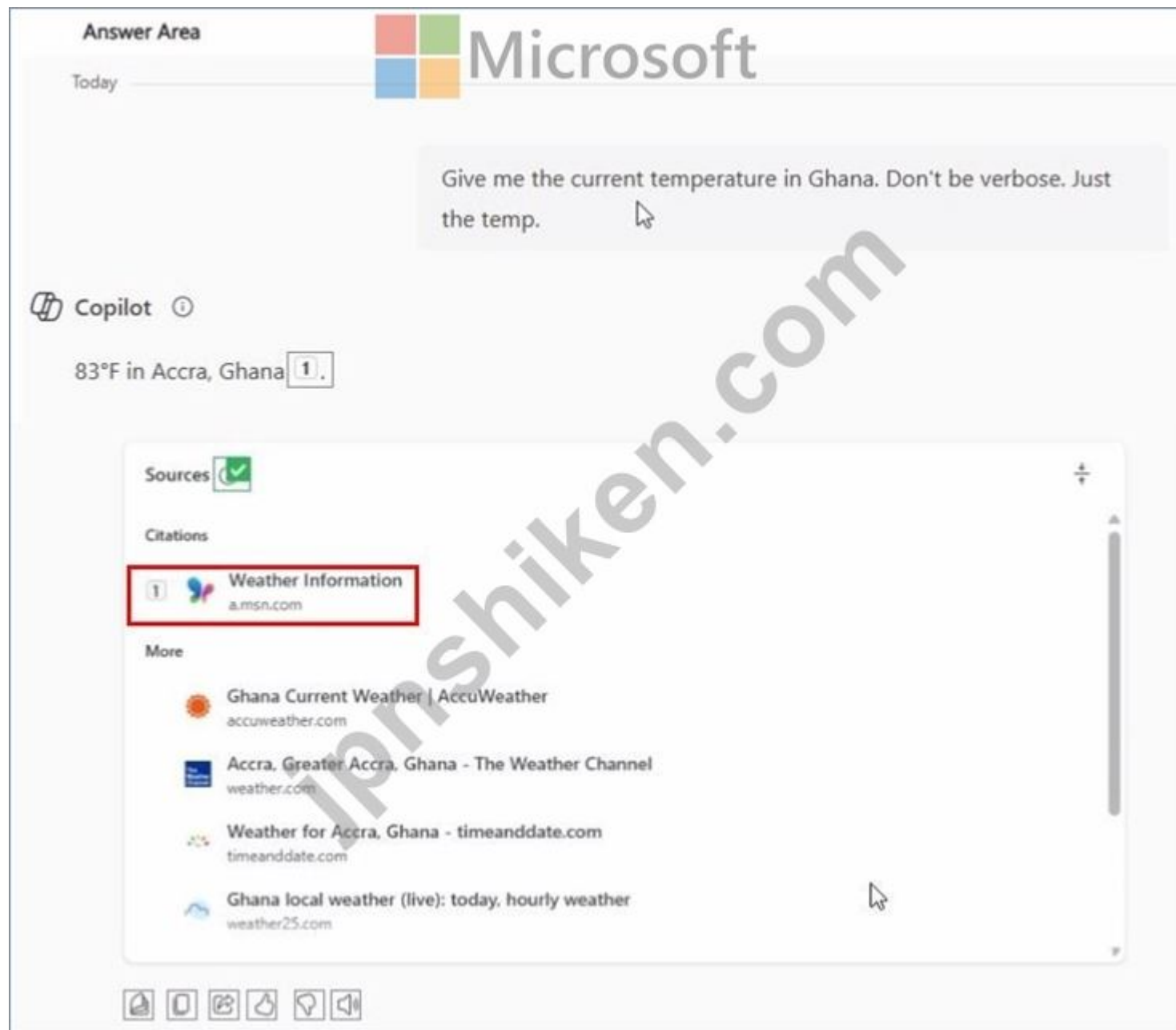
More

-  Ghana Current Weather | AccuWeather
accuweather.com
-  Accra, Greater Accra, Ghana - The Weather Channel
weather.com
-  Weather for Accra, Ghana - timeanddate.com
timeanddate.com
-  Ghana local weather (live): today, hourly weather
weather25.com

 Microsoft

正解:



質問: 14

Microsoft 365 Copilot を使用します。

あなたは、機密情報を含む知識源を利用した会話をしていたことに気づく。

管理者の承認を必要とせずに会話データを削除する必要があります。可能であれば、その他の会話データは保持してください。

何をすべきでしょうか？

- A. Microsoft 365 管理センター
- B. Microsoft 365 Copilot のマイアカウントポータル
- C. Microsoft Purviewコンプライアンスポータル
- D. Microsoft 365 Copilot アプリ

正解: (正解を表示します)

管理者権限がなくても、My Account ポータル (myaccount.microsoft.com) を通じて、機密情報を含む Microsoft 365 Copilot チャットデータを削除できます。

データ削除の手順：

1. 職場または学校のアカウントを使用して、マイアカウントポータルにサインインしてください。

- 2. [設定とプライバシー]>[プライバシー]>[データオプション]に移動します。
- 3. コパイロットのアクティビティ履歴セクションを開きます。
- 4. [履歴の削除] を選択し、[Microsoft 365 Copilot] のチェックボックスをオンにして、[削除] をクリックします。

参照：
<https://support.microsoft.com/en-us/office/delete-your-microsoft-365-copilot-activity-history-76de8afa-5eaf-43b0-bda8-0076d6e0390f>

質問: 15

Microsoft 365 Copilot を使用して、Microsoft SharePoint ライブラリ内のドキュメントに基づいて、Microsoft Word で提案書を作成します。
提案書に記載されている情報が正確であることを確認する必要があります。
目標を達成するための最善のアプローチは何ですか？複数の選択肢が目標を達成できる可能性があります。最も適切な回答を選択してください。

- A. 生成されたコンテンツ内の引用を手動で検証します。
- B. Word の Copilot を使用して引用文献を確認してください。
- C. 組織の編集基準を含むエージェントを作成し、そのエージェントを使用して引用を検証します。
- D. すべての参考資料を記載したノートを作成し、そのノートを使用して引用を検証します。

正解: (正解を表示します)

Microsoft AI Business Professional ドキュメントに関する、包括的かつ詳細な説明（150～200語）：
引用情報の正確性を確保するため、マイクロソフトのAIガイダンスでは、特に正式なビジネス文書で使用されるコンテンツについては、AIが生成した出力の人間による検証を強く推奨しています。CopilotがSharePointファイルに基づいて応答を生成する場合でも、テキストの解釈ミス、不正確な要約、あるいは記述を誤ったソースセクションに帰属させる可能性があります。正確性を確認する最も確実な方法は、各引用箇所を元のSharePointドキュメントと照合し、記述どおりに主張が裏付けられていることを検証することです。
選択肢Aが最良の回答です。なぜなら、手動による検証は正確性と説明責任を確保するための決定的な手段だからです。選択肢Bは、Copilotに情報の出所を再確認または再提示させることで役立つ可能性がありますが、これはあくまでAIによる確認であり、直接的な情報源の検証に取って代わるものではありません。選択肢CとDは、標準や参照の一貫性と再利用性を向上させることができますが、引用の正確性を保証するものではなく、依然としてモデルの解釈に依存しています。
したがって、最も良い方法は、生成された提案書の内容に含まれる引用文献を手動で検証することです。

質問: 16

文を正しく完成させる選択肢を選びなさい。



正解:



Explanation:

提案されたプロンプト

Microsoft 365 Copilot では、提案されたプロンプトが、ユーザーがすぐに使い始め、エージェントと効果的にやり取りできるように設計されています。Copilot エージェント向けの Microsoft のガイダンスでは、多くのユーザーが最初に最も苦勞するのは、何を質問すればよいのか、どのようにリクエストを表現すればよいのか、そしてエージェントの役割をどのように活用すればよいのかが分からない点であると強調しています。

提案されたプロンプトは、エージェントが想定するシナリオにおいて、エージェントを効果的に活用するための最良の方法を示す、すぐに使える例を提供することで、この課題に対処します。提案されたプロンプトは、適切なプロンプト表示のための軽量の「ガードレール」としても機能します。これらは、ユーザーに想定される入力パターン、エージェントが実行できるタスクの種類、および要求できる出力の種類を示します。これにより、ユーザーを適切に構造化された要求と適切なコンテキストへと導くことで、導入を促進し、結果の質を向上させます。

対照的に、機能とはエージェントができること（ツール／機能）を記述し、指示とはエージェントがどのように動作すべきかを定義し、エージェント設定とは構成を制御するものです。これらはいずれも、ユーザーが会話を始めるための例文を提供することを主な目的としたものではありません。

したがって、正しい補完候補が提示されます。

有効的な**AB-730**問題集はJPNTest.com提供され、**AB-730**試験に合格することに役に立ちます！JPNTest.comは今最新**AB-730**試験問題集を提供します。JPNTest.com AB-730試験問題集はもう更新されました。ここで**AB-730**問題集のテストエンジンを手に入れます。最新版のアクセス、<https://www.jpntest.com/shiken/AB-730-mondaishu> **113**問、**30%ディスカウント**、特別な割引コード: **JPNshiken**」

質問: 17

ホットスポットに関する質問

以下の各記述について、正しい場合は「はい」を選択してください。そうでない場合は「いいえ」を選択してください。

注：正解ごとに1ポイントが加算されます。

Statements	Yes	No
Microsoft 365 Copilot can surface data from Microsoft Teams chats.	☐	☐
Microsoft 365 Copilot can schedule, draft, and send emails based on certain conditions.	☐	☐
Microsoft 365 Copilot can summarize, draft, and answer questions about content from Microsoft Teams meetings.	☐	☐

正解:

Statements	Yes	No
Microsoft 365 Copilot can surface data from Microsoft Teams chats.	☒	☐
Microsoft 365 Copilot can schedule, draft, and send emails based on certain conditions.	☐	☒
Microsoft 365 Copilot can summarize, draft, and answer questions about content from Microsoft Teams meetings.	☒	☐

Explanation:

ボックス1 :はい

はい、Microsoft 365 CopilotはMicrosoft Teamsのチャットからデータを取得できます。

Microsoft 365 Copilot は、Microsoft Teams のチャット (1対1のチャット、グループチャット、チャンネルでの会話など)からデータを表示、要約、分析できます。Microsoft Graph を使用してこの情報にアクセスすることで、ユーザーは聞き逃した会話を確認したり、重要なポイントを特定したり、共有されたリンクやファイルを見つけたりすることができます。

ボックス2 :いいえ

いいえ。Microsoft 365 Copilot は、特定の条件に基づいてメールのスケジュール設定、下書き作成、送信を行うことができます。

Outlook の Microsoft 365 Copilot は、状況やユーザーが定義した特定の基準に基づいてメールの作成、要約、スケジュール設定を支援し、受信トレイを管理する AI アシスタントとして機能します。

ただし、Copilotはメールを自動的に送信しません。正確性を確保し、時期尚早または誤ったコミュニケーションを防ぐために、生成されたすべての下書きについてユーザーの承認が必要です。

ボックス3 :はい

はい、Microsoft 365 Copilotは、Microsoft Teams会議の内容を要約したり、下書きを作成したり、質問に回答したりすることができます。

Teams の Microsoft 365 Copilot は、会議の内容を要約、下書き、分析し、会議が文字起こしされている場合、ユーザーが決定事項を追跡し、アクション アイテムを特定し、特定の議論をリアルタイムまたは後で照会できるようにします。Microsoft Teams Premium または Microsoft 365 Copilot ライセンスと連携して、チャット履歴を含む要約を生成し、次のような会議中のクエリをサポートします。

意見の相違点はどこにあるのでしょうか？」

質問: 18

あなたは同僚とMicrosoft 365 Copilotについて話し合っています。同僚は、CopilotがWorkスコープを使用する際に、質問に答えるためにどのデータを使用するのかを尋ねました。

同僚に何と伝えるべきでしょうか？

A. コパイロットは、コパイロットが訓練を受けた一般的な知識のみに基づいて応答します。

B. Copilotは、組織のMicrosoft 365環境内のすべてのデータと、Copilotがトレーニングを受けた一般的な知識に基づいて応答を提供します。

C. コパイロットは、ユーザーがアクセスできるデータと、コパイロットがトレーニングを受けた一般的な知識のみに基づいて応答を提供します。

D. Copilotは、ユーザーがアクセスできるデータのみに基づいて応答を提供します。

正解: **C** ([コメントを发表する](#))

Microsoft 365 Copilot は、主に 2 つの知識境界内で動作します。1 つは基盤となる大規模言語モデルのトレーニング データ、もう 1 つは Microsoft 365 テナント内で利用可能な組織データです。ただし、Copilot は Microsoft のセキュリティおよびコンプライアンス モデルを厳格に適用するため、サインインしているユーザーがアクセスを許可されているデータのみを取得して使用します。

Copilotは、Workスコープを使用する場合、学習済みの一般的な知識と、Microsoft 365に保存されているドキュメント、メール、チャット、カレンダー、ファイルなどの組織データを組み合わせます。重要な点として、Copilotはロールベースのアクセス制御と既存のアクセス許可を尊重します。ユーザーがアクセス権限を持たないコンテンツから情報を表示することはありません。

オプションAは、作業範囲に組織データが含まれるため不完全です。オプションBは、Copilotがテナントデータすべてに無差別にアクセスするわけではなく、権限範囲に基づいてアクセスするため誤りです。オプションDは、Copilotが一般的なトレーニング知識も活用するため不完全です。

したがって、正しい説明は、Copilotはユーザーがアクセスできるデータと、Copilotが持つ一般的な学習知識のみに基づいて応答を提供する、というものである。

質問: 19

以下の各記述について、正しい場合は「はい」を選択してください。そうでない場合は「いいえ」を選択してください。

注：正解ごとに1ポイントが加算されます。

Answer Area

Microsoft

Yes

No

Statements

You can add a Microsoft Teams chat as a knowledge source to a Microsoft 365 Copilot agent.

☐

☐

You can add a Microsoft 365 Copilot conversation as a knowledge source to a Copilot agent.

☐

☐

You can use an image file, such as a JPG file, as a knowledge source for a Microsoft 365 Copilot agent.

☐

☐

正解:

Answer Area

Microsoft

Yes

No

Statements

You can add a Microsoft Teams chat as a knowledge source to a Microsoft 365 Copilot agent.

☒

☐

You can add a Microsoft 365 Copilot conversation as a knowledge source to a Copilot agent.

☐

☒

You can use an image file, such as a JPG file, as a knowledge source for a Microsoft 365 Copilot agent.

☐

☒

Explanation:

声明:

Microsoft Teams チャットを Microsoft 365 Copilot エージェントのナレッジソースとして追加できます。回答: はい

Microsoft 365 Copilot の会話を Copilot エージェントのナレッジ ソースとして追加できますか？ 回答: いいえ

JPGファイルなどの画像ファイルをMicrosoft 365 Copilotエージェントの知識ソースとして使用することはできません。回答 :いいえ

Microsoft 365 Copilot Agent Builder は、承認済みのナレッジ ソースに基づいてエージェントを誘導することで、応答の正確性と権限による制限を確保します。Teams チャットをナレッジ ソースとして使用することも可能です。Microsoft Learn では、チャット メッセージを含む Teams データに基づいてエージェントを誘導できること（必要に応じて特定のチャットに範囲を指定できること）が確認されており、エージェントは質問に回答する際にコラボレーション コンテキストを参照できます。

Copilotの会話自体は、サポートされている「ナレッジソース」オプションではありません。ナレッジソースは、SharePointコンテンツ、Teams、メール、Webサイト、アップロードされたファイル、コネクタなどのアイテムから構成され、過去のチャットの記録からは構成されません。

最後に、JPG画像はナレッジソースのファイル形式としてサポートされていません。Microsoftがエージェントのナレッジとしてサポートしているファイル形式に

は、.doc/.docx、.pdf、.ppt/.pptx、.txtなどのドキュメント、およびExcel形式 (.xls/.xlsx)が含まれますが、画像形式は含まれません。したがって、JPGをCopilotエージェントのナレッジソースとして使用することはできません。

質問: 20

プロンプトに対して、次のような応答が表示されます。申し訳ありませんが、この質問には回答できません。別のトピックを試してみましょう。」

この反応の考えられる原因は何ですか？

A. 質問が曖昧すぎて、回答が得られません。

B. このプロンプトには、安全ガイドラインに違反する表現が含まれています。

C. プロンプトには5つ以上のリクエストが含まれています。

D. プロンプトが許容されるコンテキストウィンドウよりも大きいです。

正解: ([正解を表示します](#))

Microsoft 365 Copilot は、Microsoft の責任ある AI 原則に従い、厳格なコンテンツ安全ポリシーを適用します。プロンプトが有害、虐待的、違法、または制限されたコンテンツを含むなど、安全ガイドラインに違反する場合、システムは応答の生成を拒否することがあります。表示される拒否メッセージは、安全フィルタリングの動作と一致しています。

生成型AIシステムには、出力を生成する前にプロンプトを評価するモデレーション層が含まれています。プロンプトが安全でない、またはポリシーに準拠していないと判断された場合、Copilot はリクエストをブロックし、ユーザーに別のトピックを試すよう促します。

曖昧なプロンプトに対しては、通常、拒否ではなく、一般的な回答や補足説明が返されます。プロンプトごとにリクエストできる回数に5回という固定の制限はありません。コンテキストウィンドウを超えてリクエストを送信すると、通常は安全上の理由による拒否メッセージではなく、メッセージの切り捨てや処理エラーが発生します。

したがって、この反応の最も可能性の高い原因は、プロンプトに安全ガイドラインに違反する表現が含まれていることである。

質問: 21

ビジネスにおける予測分析の目的は何ですか？

A. 業務ワークフローを自動化する

B. 過去のデータに基づいて将来の出来事を予測する

C. サプライチェーン物流をリアルタイムで管理する

D. 不確実性分析のためのランダム予測を生成する

正解: ([正解を表示します](#))

予測分析は、過去のデータ、機械学習アルゴリズム、統計的手法を用いて将来のトレンドを予測します。これにより、企業は需要、顧客行動、その他の重要な要素を予測し、意思決定に役立てることができます。

質問: 22

Microsoft 365 Copilot の会話では、レポートを生成し、その後、ページ上でレポートを編集します。

レポート作成にあたっては、同僚と協力する必要があります。

目標を達成するための2つの方法は何ですか？それぞれの正解は、完全な解決策を示しています。

注：正解ごとに1ポイントが加算されます。

A. ページ内で同僚について言及してください。

B. Microsoft Wordでページを開きます。

C. ページリンクを共有します。

D. ページをノートに追加します。

正解: ([正解を表示します](#))

Microsoft 365 Copilot によって生成されたレポートについて同僚と共同作業を行うには、最初の AI 応答を編集可能な共有ドキュメントに変換するか、Copilot Pages」を使用してリアルタイムで共同作業を行うのが最適です。

レポートを編集しながら共同作業を行うための最適な方法を以下に示します。

1. Copilot Pagesを使用してリアルタイムコラボレーションを行う

Copilot Pagesは、AIの応答を永続的で共有可能、かつ編集可能なキャンバスに変換するために特別に設計されています。

ページへの変換 :Copilotがチャットパネルでレポートを生成したら、それをページとして開いたり転送したりするオプションを探します（多くの場合、ページで編集」などのボタンを使用します）。

[C] *-> ページを共有する: ページ上の共有ボタンを選択して、同僚にリンクを送信します。

リアルタイム共同編集 :あなたと同僚の両方がテキストを編集でき、Copilotはどちらかの入力に基づいてコンテンツを更新します。変更はリアルタイムで同期されます。
継続的なコラボレーション :チャットセッションが終了した後もページが保持されるため、継続的な作業が可能です。

2. Word形式でエクスポートして、従来の共同編集を行う

より高度な書式設定が必要な場合、または従来型の文書編集を好む場合は、レポートをWordに移行できます。

[B] *-> Word で開く: レポートが Teams の会議またはチャットで作成された場合は、[Word で開く] をクリックします。

ファイルを共有する :Wordの標準共有機能を使用して同僚にアクセス権を付与することで、両者がリアルタイムで同時にドキュメントを共同編集できるようになります。

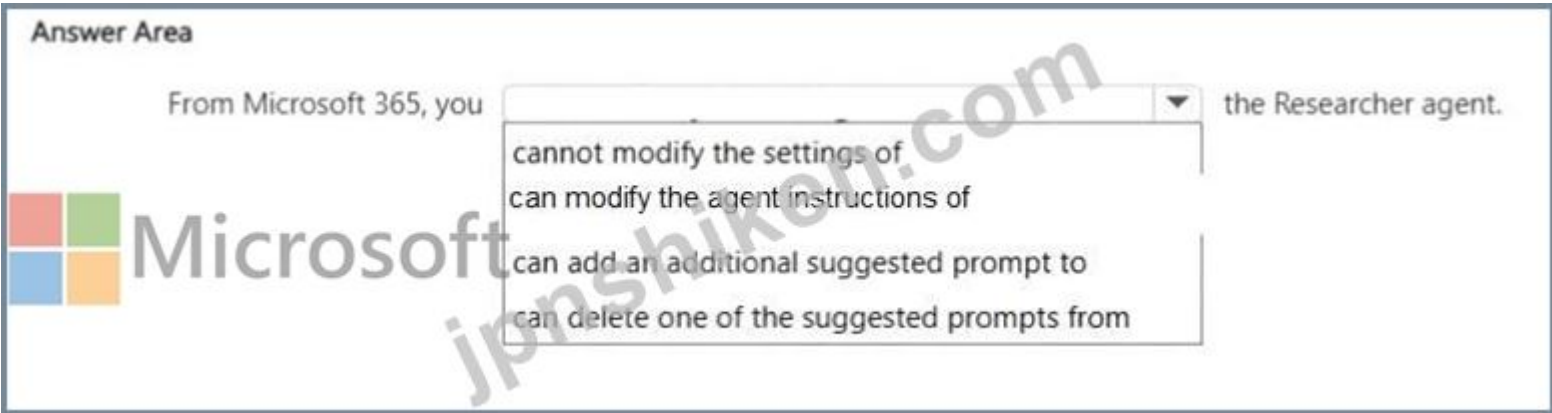
Word の Copilot を使用する: 同僚は、Word 文書内の Copilot ペインを使用して、セクションを追加したり、レポートを書き直したり、要約したりすることもできます。

参照 :

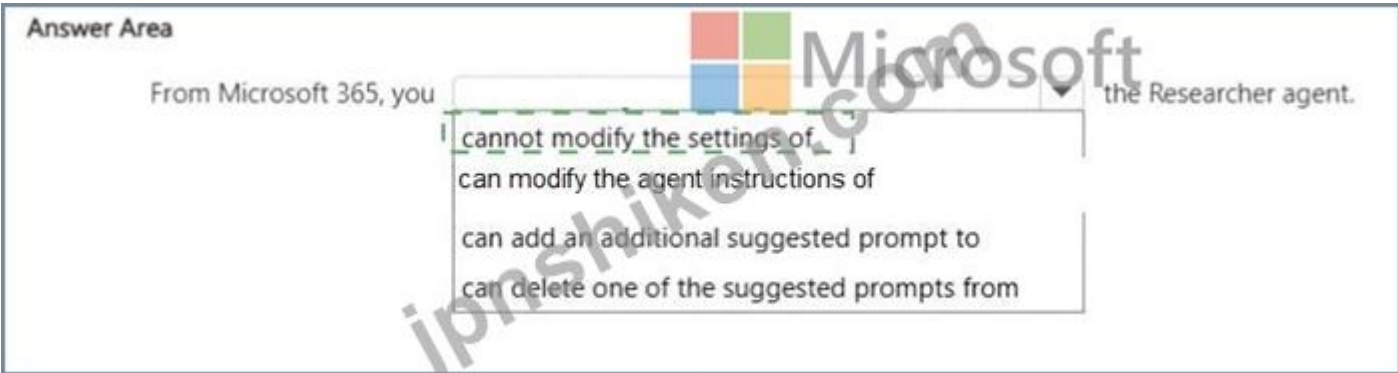
<https://support.microsoft.com/en-us/office/document-collaboration-and-co-authoring-ee1509b4-1f6e-401e-b04a-782d26f564a4#>

質問: 23

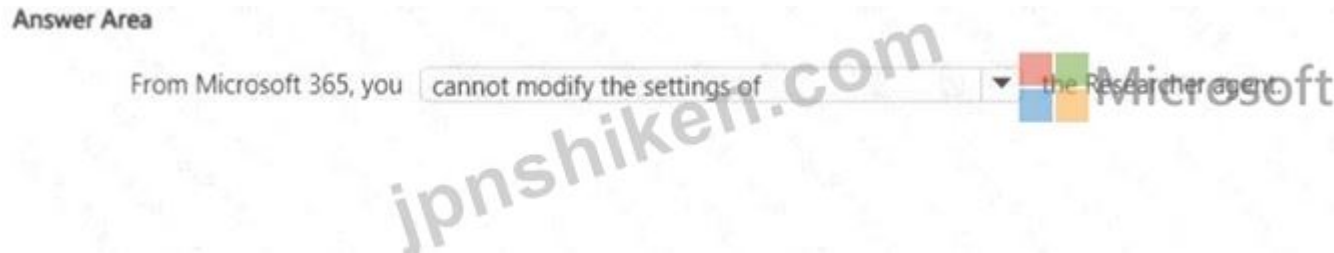
文を正しく完成させる選択肢を選びなさい。



正解:



Explanation:



正しい補完候補は「cannot modify the settings of」です。これは、Microsoft 365 Copilot の研究者エージェントなどの組み込みエージェントがシステム定義のエクスペリエンスであるためです。これらのエージェントは、一貫した機能性、セキュリティ、コンプライアンス、および責任ある AI 標準との整合性を確保するために、Microsoft によって設計および管理されています。ユーザーはリサーチャーと対話したり、プロンプトを提供したり、会話中に出力を調整したりすることはできますが、Microsoft 365に組み込まれているエージェントのコアシステム設定や構成を直接変更することはできません。

承認された開発ツールを使用してカスタムCopilotエージェントを作成する場合、管理設定やより詳細なカスタマイズが可能です。Microsoftが提供するデフォルトのエージェントは設定が制限されています。

エージェントの指示の変更、プロンプトの追加、または提案されたプロンプトの削除といったオプションは、組み込みのエージェントインターフェイスの直接的な構造カスタマイズを意味しますが、これは標準の Microsoft 365 Copilot エクスペリエンスではサポートされていません。

これは、企業環境における生成型AIのガバナンスにおける重要な原則を反映している。すなわち、システムレベルの制御は中央集権的に管理され、組織全体でデータ保護、コンプライアンス、および責任あるAI実装を維持する。

質問: 24

マーケティングにおけるAIの典型的な活用事例は次のうちどれですか？

- A. 人事管理の自動化
- B. 顧客の行動に基づいた広告のパーソナライズ
- C. 財務予測の生成
- D. 物理的なサプライチェーンの最適化

正解: [\(正解を表示します\)](#)

AIは、閲覧履歴、過去の購入履歴、エンゲージメントなどを分析することで、マーケティング担当者が顧客の嗜好を理解するのに役立ちます。そして、これらのデータを利用して、個々の顧客に響く可能性の高いターゲット広告を作成し、コンバージョン率を高めます。

質問: 25

保存済みのプロンプトを実行すると、次の応答が表示されます。

File.docx の要約を要求されましたが、ファイルは空であるか、破損しているか、または処理できない形式であるようです。」この応答が返される原因として考えられることは何ですか？

- A. プロンプトの実行をスケジュールしていません。
- B. デスクトップアプリではなく、ウェブアプリからプロンプトを実行しました。
- C. プロンプトを実行するために間違ったエージェントを使用しました。
- D. ファイルにアクセス権がありません。

正解: [\(正解を表示します\)](#)

Microsoft AI Business Professional ドキュメントに関する、包括的かつ詳細な説明 (150~200語) :

Microsoft 365 Copilot が参照ファイルにアクセスできない場合、ファイルが空、破損している、または処理できないことを示すメッセージが表示されることがあります。多くの場合、このメッセージは、ユーザーが SharePoint、OneDrive、またはその他の Microsoft 365 の場所でファイルを開くための十分な権限を持っていない場合に表示されます。

Copilot は Microsoft Graph のセキュリティ境界内で動作し、ユーザーのアクセス許可を厳密に尊重します。保存されたプロンプトが File.docx を参照しているにもかかわらず、アクセス許可の変更、ファイルの移動、または削除によりユーザーがそのファイルにアクセスできなくなった場合、Copilot はグラウンディングのためにコンテンツを取得できません。その結果、ファイルの分析や要約ができず、処理関連のエラーが返されます。

プロンプトをスケジュール設定しないことは、ファイル処理とは無関係です。Webアプリまたはデスクトップアプリから実行しても、ファイルの読み取りには影響しません。異なるエージェントを使用しても、通常はファイル形式の処理エラーは発生しません。

したがって、最も可能性の高い原因は、あなたがそのファイルにアクセスできないことです。

質問: 26

文を正しく完成させる選択肢を選びなさい。



正解:



Explanation:



Microsoft Purview は、Microsoft の統合コンプライアンスおよびデータガバナンス ソリューションであり、Microsoft 365 コンテンツ (Copilot を含む) 全体にわたってポリシーを適用および強制するのに役立ちます。これらのインタラクションは、Microsoft 365 監査、eDiscovery、Purview コンプライアンス エクスペリエンスなどのサービスでキャプチャされます。Purview は、データ損失防止 (DLP)、保持、eDiscovery、監査、機密ラベル付けなどの機能をサポートしているため、組織は規制要件および社内要件に沿ってデータと AI 支援コンテンツを管理および統制できます。これに対し、Microsoft Entra ID は ID およびアクセス管理に、Intune はデバイスおよびアプリケーション管理に、Defender for Cloud はクラウド セキュリティ態勢管理に重点を置いています。Copilot で生成された会話のガバナンス ポリシーと関連するコンプライアンス コントロールは、Microsoft 365 環境全体で情報保護とコンプライアンスを管理するように設計された Purview と最も直接的に一致します。

質問: 27

ホットスポットに関する質問

以下の各記述について、正しい場合は「はい」を選択してください。そうでない場合は「いいえ」を選択してください。

注：正解ごとに1ポイントが加算されます。

Answer Area

Statements	Yes	No
Microsoft 365 Copilot indicates whether source content has a sensitivity label applied as part of the references in the response.	☐	☐
Microsoft 365 Copilot can provide you with summaries of files in SharePoint that have sensitivity labels applied as long as you have access to the files.	☐	☐
When you use Microsoft 365 Copilot to create new content based on an item that has a sensitivity label, the new content automatically inherits the sensitivity label.	☐	☐

正解:

Statements	Yes	No
Microsoft 365 Copilot indicates whether source content has a sensitivity label applied as part of the references in the response.	☒	☐
Microsoft 365 Copilot can provide you with summaries of files in SharePoint that have sensitivity labels applied as long as you have access to the files.	☒	☐
When you use Microsoft 365 Copilot to create new content based on an item that has a sensitivity label, the new content automatically inherits the sensitivity label.	☒	☐

質問: 28

あなたは、自社と他社との提携に関する提案を要約する予定です。
プロジェクト開始会議のために、提案書の内容を3～5つの要点を箇条書きにしたリストとしてまとめるには、Microsoft 365 Copilotを使用する必要があります。各箇条書きは簡潔かつ分かりやすい言葉で記述してください。
プロンプトに含めるべき2つの詳細は何ですか？
A. 研究者エージェントを使用して生成された両社のプロフィール
B. 提案書の取り扱いに関する簡潔な指示
C. パートナーシップの主要関係者の連絡先一覧
D. 回答の根拠となる具体的な知識源

正解: B,D (コメントを发表する)

Microsoft 365 Copilot で効果的なプロンプトを作成するには、明確な指示と信頼できるコンテンツに基づいた内容という 2 つの重要な要素が必要です。Microsoft のガイダンスでは、プロンプトには出力形式、トーン、長さ、目的を明確に記載する必要があると強調しています。この場合、簡潔で分かりやすい言葉で要点を 3 ～ 5 つ箇条書きで示す」という指示は簡潔な指示に該当するため、オプション B が不可欠です。
さらに、提案書を添付または参照するなど、特定の知識源に基づいて回答を作成することで、事実の正確性が確保され、誤解を招く可能性が低減されます。オプションDでは、Copilotが一般的なモデル知識に頼るのではなく、実際の提案内容を使用することが保証されます。
プロフィール情報と関係者の連絡先情報は、要約の要件とは無関係です。したがって、正解はBとDです。

質問: 29

ホットスポットに関する質問
Microsoft 365 Copilot の研究者エージェントを使用してプロンプトを実行します。

以下の各記述について、正しい場合は「はい」を選択してください。そうでない場合は「いいえ」を選択してください。
注：正解ごとに1ポイントが加算されます。

Statements	Yes	No
You can continue the conversation in Copilot in Word.	☐	☐
You can continue the conversation in Copilot for Teams.	☐	☐
You can continue the conversation in Copilot in Outlook.	☐	☐

正解:

Statements	Yes	No
You can continue the conversation in Copilot in Word.	☒	☐
You can continue the conversation in Copilot for Teams.	☒	☐
You can continue the conversation in Copilot in Outlook.	☒	☐

質問: 30

他社の同僚が、あるプロンプトへのリンクを共有してくれた。
リンクを選択すると、プロンプトが見つかりません。申し訳ありませんが、プロンプトは現在利用できないようです。」という応答が表示されます。この応答が発生する原因として考えられることは何ですか？

- A. このプロンプトはスケジュールされたプロンプトです。
- B. プロンプトには、あなたがアクセス権限を持たないファイルへの参照が含まれています。
- C. プロンプトが古くなっています。
- D. プロンプトには、機密ラベルが適用されたファイルが含まれています。
- E. プロンプトはあなたの組織外です。

正解: [\(正解を表示します\)](#)

Microsoft 365 Copilot は、Microsoft 365 テナントのセキュリティ、コンプライアンス、および ID の境界内で動作します。共有プロンプト、プロンプト リンク、および Copilot アーティファクトは、組織のアクセス制御とテナント分離によって管理されます。プロンプトが組織外から作成および共有された場合、共有構成と管理ポリシーによっては、テナント間アクセスがサポートされない場合があります。
ユーザーが適切なテナント間共有権限なしに、別の組織のテナントに存在するプロンプトを開こうとした場合、Copilot はユーザー自身の環境内でそのリソースを検出または検証することができません。
その結果、システムは「プロンプトが見つかりません」というメッセージを表示します。

オプションBの場合、通常はプロンプトが完全に利用できなくなるのではなく、アクセスまたは権限のエラーが発生します。機密ラベルやスケジュールされたプロンプトは、本来「見つかりません」エラーの原因にはなりません。したがって、最も可能性の高い原因は、プロンプトが組織のテナント境界外に存在し、アクセスできないことです。

質問: 31

以下の各設問について、該当する場合は「はい」を選択してください。該当しない場合は「いいえ」を選択してください。注：正解ごとに1点が加算されます。

Answer Area

Statements	Yes	No
Microsoft 365 Copilot is trained on your organization's business data.	☐	☐
Microsoft 365 Copilot can summarize emails in mailboxes that were shared with you.	☐	☐
Microsoft 365 Copilot leverages the security framework defined in Microsoft 365 to provide you with access to emails, documents, and other enterprise data.	☐	☐

正解:

Answer Area

Statements	Yes	No
Microsoft 365 Copilot is trained on your organization's business data.	☐	☒
Microsoft 365 Copilot can summarize emails in mailboxes that were shared with you.	☒	☐
Microsoft 365 Copilot leverages the security framework defined in Microsoft 365 to provide you with access to emails, documents, and other enterprise data.	☒	☐

有効的な**AB-730**問題集はJPNTTest.com提供され、**AB-730**試験に合格することに役に立ちます！JPNTTest.comは今最新**AB-730**試験問題集を提供します。JPNTTest.com AB-730試験問題集はもう更新されました。ここで**AB-730**問題集のテストエンジンを手に入れます。最新版のアクセス、<https://www.jpntest.com/shiken/AB-730-mondaishu> 113問、30%ディスカウント、特別な割引コード: **JPNshiken**」

質問: 32

あなたは、自社のマーケティングチーム向けに、Microsoft 365 Copilotアプリでカスタムエージェントを作成しています。
このエージェントは、コピー、ロゴ、アートワークなどのマーケティング資料を作成するために使用されます。
エージェントに何を追加すべきでしょうか？複数の選択肢で目的を達成できる可能性があります。最適な選択肢を選んでください。

- A. テンプレート
- B. 提案されたプロンプト
- C. 画像ジェネレーター
- D. コードインタープリタ

正解: ([正解を表示します](#))

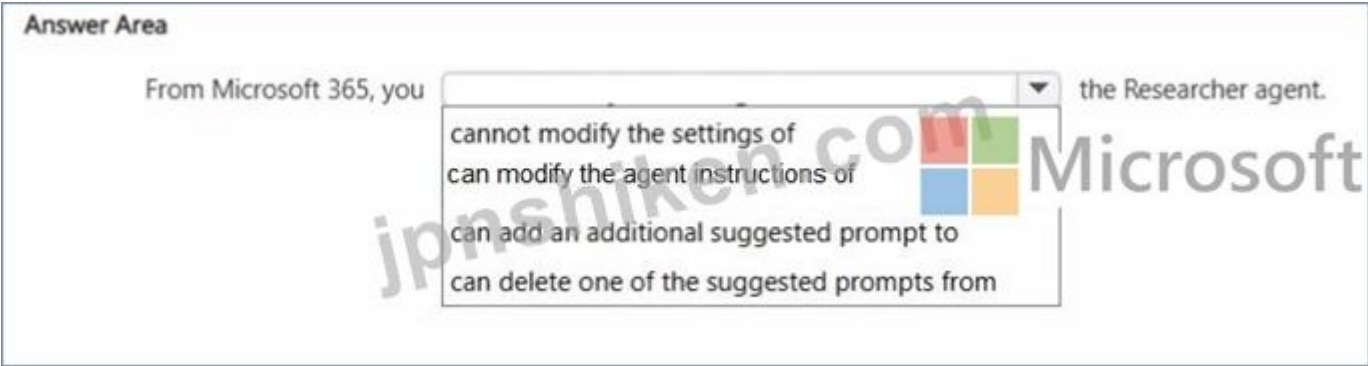
マーケティング用途向けに Microsoft 365 Copilot でカスタムエージェントを構築する場合、必要な機能は意図する出力と一致している必要があります。マーケティング資料には、文章だけでなく、ロゴやアートワークなどのビジュアルアセットも含まれます。Microsoft AI Business Professional のドキュメントによると、ビジュアルクリエイティブアセットを生成する生成型 AI ソリューションには、マルチモーダル AI モデルによって駆動される統合画像生成機能が必要です。

選択肢Cが正解です。画像ジェネレーターを使用すると、エージェントはロゴ、アートワーク、デザイン要素などの視覚的なマーケティング資料を作成できます。テンプレートや提案プロンプトは使いやすさと一貫性を向上させることができますが、画像を生成するための基本的な機能は提供しません。コードインタープリタはデータ分析、計算、または技術的なスクリプト作成タスク向けに設計されており、クリエイティブなマーケティング資産の制作には関係ありません。

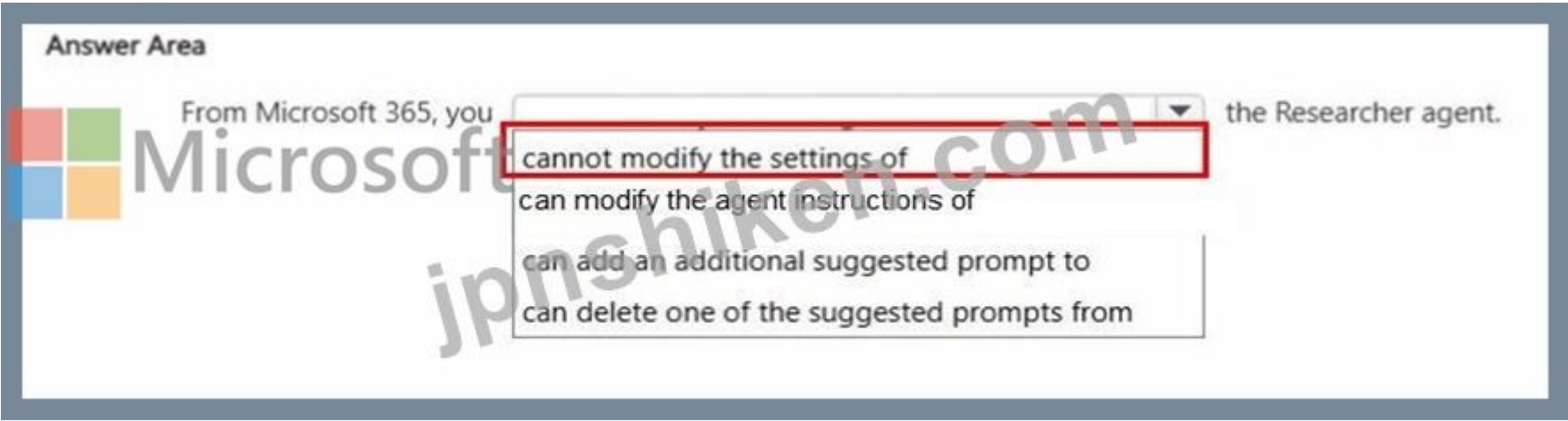
したがって、テキストとビジュアルの両方のマーケティング資料を作成するという要件を満たすためには、カスタムエージェントに最も重要な追加機能は画像生成機能である。

質問: 33

文を正しく完成させる選択肢を選びなさい。

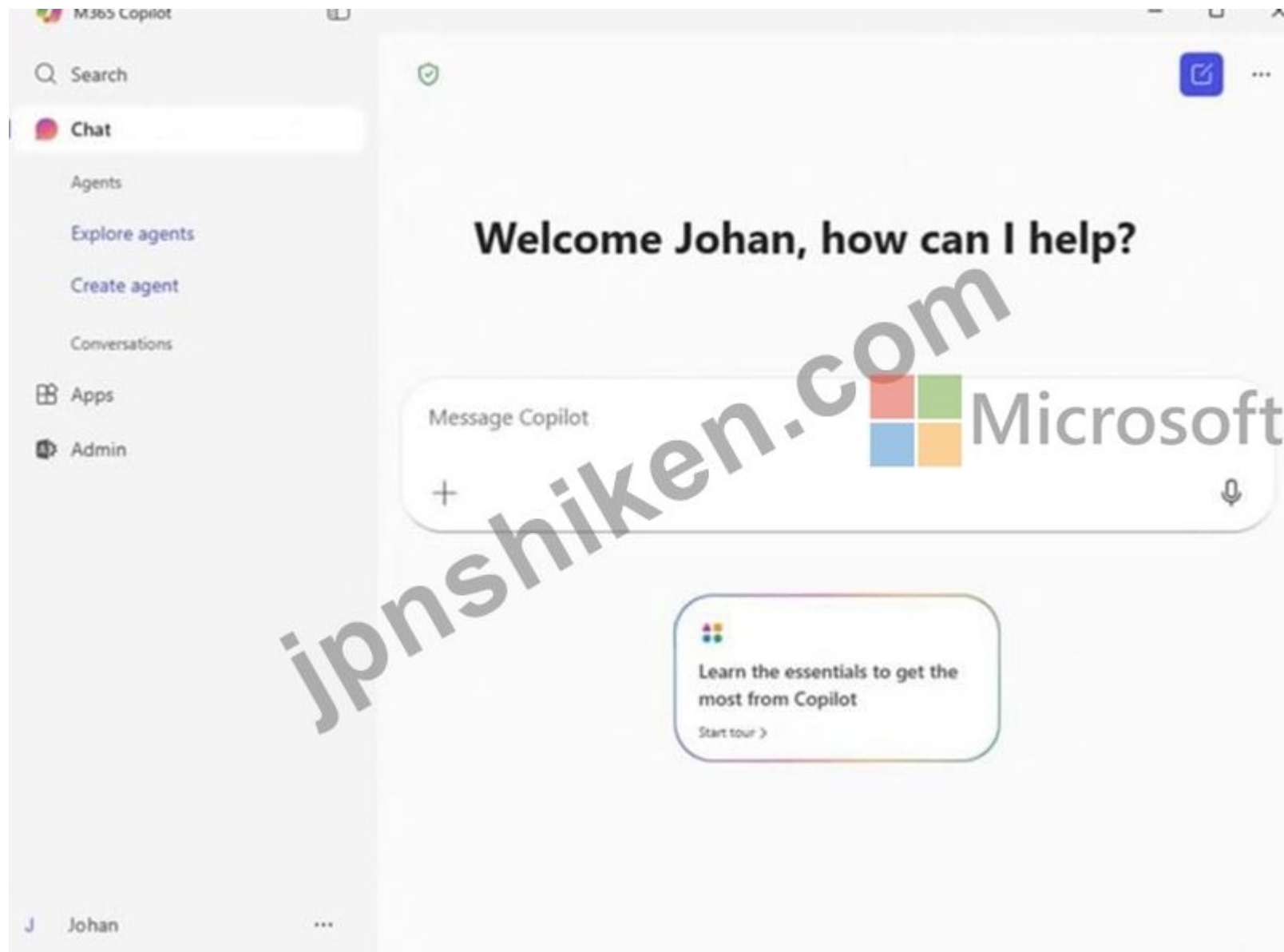


正解:



質問: 34

次の図に示すように、職場のアカウントを使用して Microsoft 365 Copilot アプリにサインインします。



同僚から、Microsoft 365 Copilot アプリを開くと、研究者エージェントにアクセスできると聞きました。

研究者エージェントにアクセスする必要があります。

あなたはどうすべきでしょうか？

- A. 管理者から Microsoft 365 Copilot ライセンスをリクエストしてください。
- B. 「エージェントを探索」を選択し、次に「研究者」を検索します。
- C. 個人アカウントを使用してCopilotアプリにサインインします。
- D. Microsoft Edge から、職場のアカウントを使用して <https://copilot.microsoft.com> にサインインします。

正解: ([正解を表示します](#))

Microsoft 365 Copilot アプリでは、研究者エージェントは、迅速なチャット応答ではなく、詳細な多段階分析を行うために設計された、特殊な「推論エージェント」です。

研究者へのアクセス方法

1. アプリを開く :Microsoft 365 Copilot アプリにサインインするか、Windows タスクバーからアプリを開きます。
2. エージェントを探す : 左側のナビゲーションペインで、「エージェント」セクションを探します。
3. 研究者を選択する :
 - 3a. 既にリストに表示されている場合は、「研究者」をクリックして専用インターフェースを開いてください。[ここには表示されていません]
 - 3b. 表示されない場合は、[すべてのエージェント] をクリックしてエージェントストアを開き、[Microsoft 製] または [生産性] カテゴリで [Researcher] を検索します。

4. 簡単にアクセスできるようにピン留めする: リスト内の研究者エージェントにカーソルを合わせ、[その他 (...)] メニューを選択し、サイドバーに常に表示されるようにピン留めを選択します。
アクセス要件

*→ ライセンス :Microsoft 365 Copilot ライセンスが必要です。Business、Enterprise、Premium の各サブスクリプションでご利用いただけます。

管理者による有効化 :それでもエージェントが見つからない場合は、IT管理者が有効化する必要があるかもしれません。

Microsoft 365 管理センターで、[Copilot] > [設定] > [データ アクセス] > [エージェント] に移動し、アクセスが「すべてのユーザー」に設定されていることを確認することで、これを行うことができます。参照:

<https://support.microsoft.com/en-us/topic/get-started-with-researcher-in-microsoft-365-copilot-e63ab760-f3de-4c47-ae87-dad601b0e9c4>

質問: 35

Microsoft 365 Copilot を使用して、Microsoft SharePoint ライブラリ内のドキュメントに基づいて、Microsoft Word で提案書を作成します。

提案書に記載されている情報が正確であることを確認する必要があります。

目標を達成するための最善のアプローチは何ですか？複数の選択肢が目標を達成できる可能性があります。最も適切な回答を選択してください。

- A. 生成されたコンテンツ内の引用を手動で検証します。
- B. Word の Copilot を使用して引用文献を確認してください。
- C. 組織の編集基準を含むエージェントを作成し、そのエージェントを使用して引用を検証します。
- D. すべての参考資料を記載したノートを作成し、そのノートを使用して引用を検証します。

正解: ([正解を表示します](#))

引用箇所を手動で検証することは、正確性を確保するための重要な最終ステップです。Microsoft 365 CopilotはSharePointファイルを基に複雑な提案書を作成できますが、設定したらあとは放置」できるツールではありません。

手動検証が重要な理由

幻覚を防ぐ：自分のファイルを参照している場合でも、AI は時として幻覚を生み出すことがあります

明らかに間違っている」または不完全な情報。

引用リンク :Copilotは使用したファイルへのソースリンク（引用を提供します。生成されたテキストを元の文書と照合するためにこれらのリンクをクリックすることは、検証のための標準的なベストプラクティスです。

書式の正確性 :Copilotは参考文献リストや特定のスタイル APAやMLAなど)に対応した引用を生成できますが、ユーザーはそれらが特定のプロジェクト要件を満たしていることを確認する必要があります。

参照：

<https://blog.quest.com/7-best-practices-for-copilot-for-microsoft-365>

質問: 36

Microsoft 365 Copilot の Researcher エージェントを使用してレポートを生成します。レポートが有効なソースを使用して生成されたかどうかを確認するには、何を使用できますか？

- A. 引用文献
- B. 説明書
- C. メモリ
- D. 能力

正解: ([正解を表示します](#))

Microsoftの研究者エージェントによって生成されたレポートで有効な情報源が使用されているかどうかを確認する

365 Copilotをご利用の場合は、ツールに組み込まれている引用、監視、検証機能を活用することをお勧めします。

ソースを検証する方法は以下のとおりです。

*-> 1. インライン引用と参考文献を確認する

引用文献をクリック :リサーチャーエージェントは、重要な洞察、出典引用、および推奨される次のステップを含む構造化されたレポートを提供します。レポート内で、番号付きの引用文献をクリックすると、出典のプレビューが表示されます。

完全なソースリンクにアクセスするには、プレビューをクリックして実際のウェブサイトまたはドキュメントを開き、情報の正確性を確認してください。

詳細な調査結果については、もっと見る」をクリックしてください。より詳細なレポートをご覧になるには、もっと見る」ボタンをクリックして、使用した情報源の全リストをご確認ください。

2. 思考プロセス」を監視する

3. ソースの種類を確認する（職場用かウェブ用か）

4. フォローアップクエリで検証する

参照 :

<https://www.microsoft.com/en-us/microsoft-365-life-hacks/everyday-ai/how-to-prompt-ai-to-find-reliable-sources-for-research-paper>

質問: 37

ホットスポットに関する質問

以下の各記述について、正しい場合は「はい」を選択してください。そうでない場合は「いいえ」を選択してください。

注：正解ごとに1ポイントが加算されます。

Answer Area

Statements	Yes	No
Scheduled prompts can be web-grounded.	☐	☐
Scheduled prompts can run a maximum of once per day.	☐	☐
Scheduled prompts can run up to a maximum of 15 times.	☐	☐

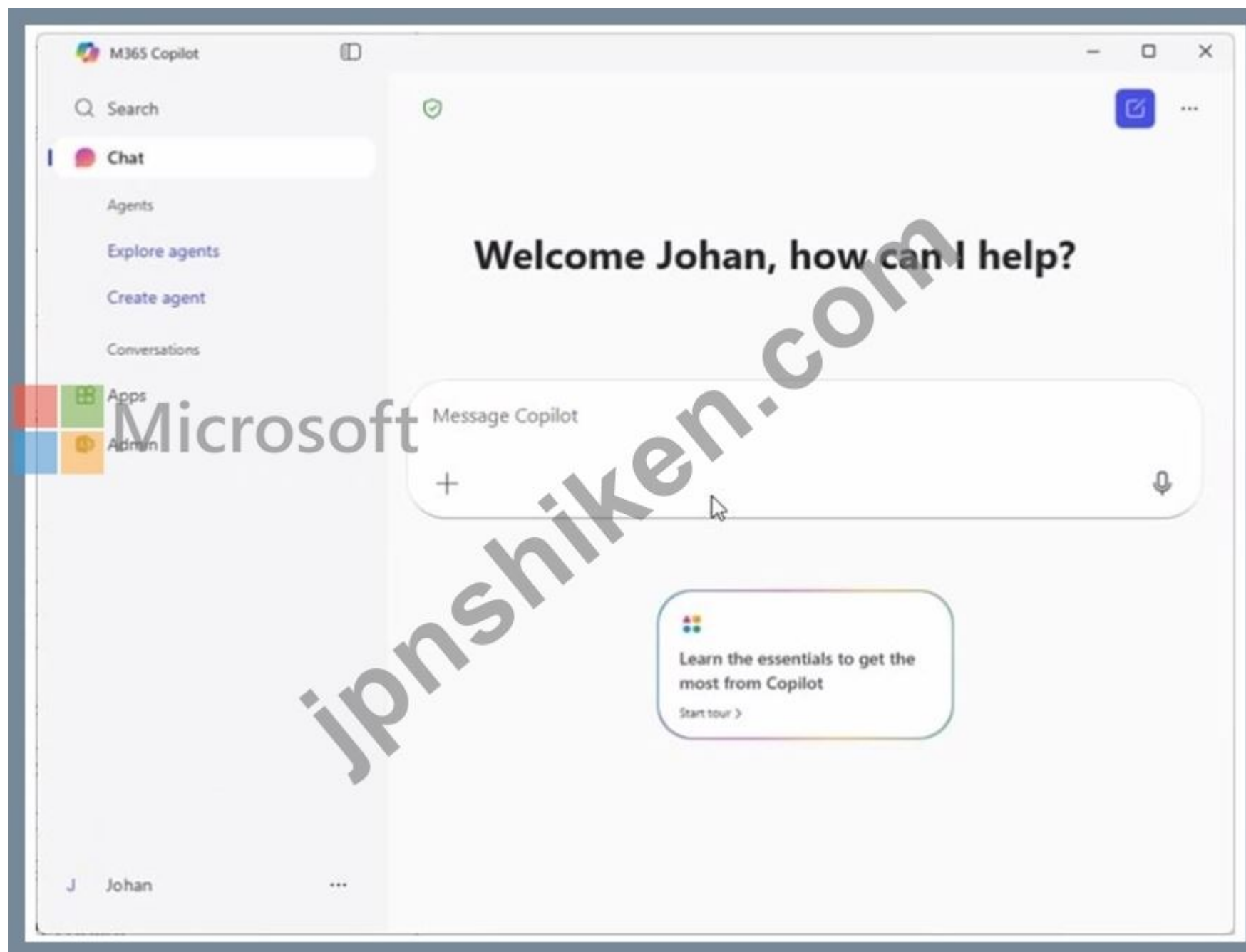
正解:

Answer Area

Statements	Yes	No
Scheduled prompts can be web-grounded.	☒	☐
Scheduled prompts can run a maximum of once per day.	☒	☐
Scheduled prompts can run up to a maximum of 15 times.	☒	☐

質問: 38

次の図に示すように、職場のアカウントを使用して Microsoft 365 Copilot アプリにサインインします。



同僚から、Microsoft 365 Copilot アプリを開くと、研究者エージェントにアクセスできると聞きました。あなたも研究者エージェントにアクセスする必要があります。あなたはどのようにすべきでしょうか？

- A. Microsoft Edge から、職場のアカウントを使用して <https://copilot.microsoft.com> にサインインしてください。
- B. 「エージェントを探索」を選択し、次に「研究者」を検索します。
- C. 個人アカウントを使用してCopilotアプリにサインインしてください。
- D. 管理者から Microsoft 365 Copilot ライセンスをリクエストします。

正解: ([正解を表示します](#))

Microsoft 365 Copilot では、研究者などのエージェントは、Copilot アプリ内のエージェント機能を通じてアクセスできます。ユーザー インターフェイスに特定のエージェントがすぐに表示されない場合は、利用可能なエージェント カタログを参照または検索するのが正しい操作です。図は、左側のナビゲーション ペインに [エージェントの探索] オプションが表示されている様子を示しています。

Microsoft AI Business Professionalのガイダンスによると、組み込みエージェントとカスタムエージェントは、「エージェントの探索」セクションから検出して有効化できます。ユーザーが既に適切なCopilotライセンスを所有しており、職場アカウントでサインインしている場合は、アカウントを切り替えたり、別のライセンスを要求したりする必要はありません。

ブラウザ経由でサインインしても機能の利用可否は変わりません。また、個人アカウントを使用すると組織機能へのアクセスが制限されます。したがって、研究者エージェントにアクセスするには、「エージェントの探索」を選択し、「研究者」を検索してください。

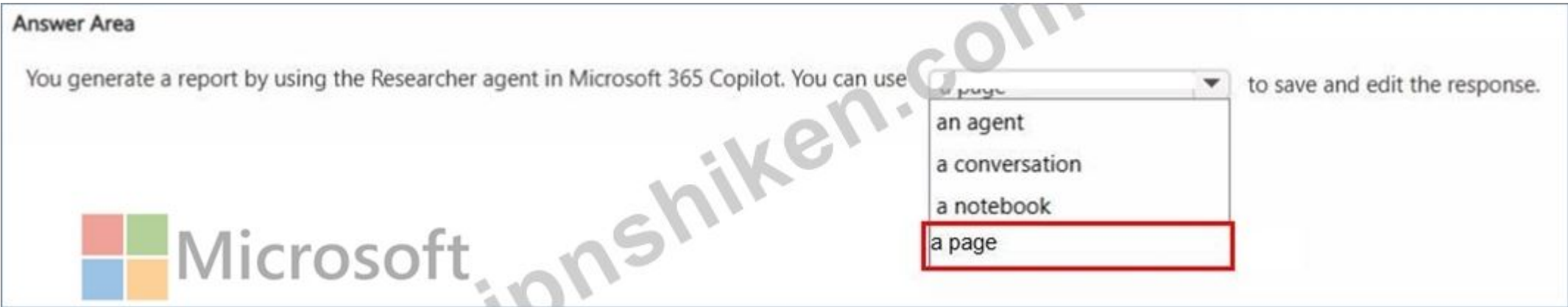
質問: 39

文を正しく完成させる選択肢を選びなさい。

Answer Area



正解:



質問: 40

大規模データセットにおけるパターンや傾向を検出するために最も一般的に使用されているAI技術は何ですか？

- A. 教師あり学習
- B. 教師なし学習
- C. 分類
- D. 回帰

正解: B ([コメントを发表する](#))

教師なし学習は、ラベル付きデータがモデルに与えられず、顧客をセグメントに分類したり、取引における外れ値を検出したりするなど、モデル自身がデータ内の構造を見つけ出す必要がある場合に使用されます。この手法は、データに隠されたパターンや関係性を発見するのに役立ちます。

質問: 41

あなたは小規模コンサルティング会社のプロジェクトコーディネーターです。

あなたは、顧客とのコミュニケーションの追跡、プロジェクトのスケジュール管理、および社内関係者向けの週次進捗状況報告書の作成を担当します。

あなたはMicrosoft 365 Copilotライセンスをお持ちです。

プロジェクトのマイルストーンを監視したり、クライアントからのメールにフォローアップしたり、週次サマリーレポートを作成したりするために、エージェントを作成します。

誰とエージェントを共有できますか？

- A. Microsoft Teams チャンネルのメンバーのみ

- B. 有効なメールアドレスをお持ちの方
- C. 組織内の人々、および個人のMicrosoftアカウントを持つ人々
- D. 組織内の人だけ

正解: [\(正解を表示します\)](#)

Microsoft 365 Copilot エージェントは、Microsoft 365 テナントのセキュリティ、コンプライアンス、および ID の境界内で動作します。Microsoft 365 Copilot アプリで作成されたカスタムエージェントは、組織のポリシー、ロールベースのアクセス制御、および Microsoft Entra ID 認証によって管理されます。

Microsoft AI Business Professionalのガイダンスによると、Copilotエージェントは企業での利用を想定して設計されており、管理者がより広範な共有機能を設定しない限り、組織内で共有されます。セキュリティ、データ保護、およびコンプライアンス要件のため、個人のMicrosoftアカウントや任意のメールアドレスとの外部共有はデフォルトではサポートされていません。

このシナリオでは、エージェントが顧客メール、プロジェクトのマイルストーン、内部レポートなどの組織データとやり取りするため、アクセスは同一テナント内の認証済みユーザーに限定する必要があります。これにより、機密性の高いビジネス情報が保護され、データアクセスが既存の権限を尊重することが保証されます。

したがって、エージェントは組織内のユーザーとのみ共有できるため、選択肢Dが正解となります。

質問: 42

以下の各設問について、該当する場合は「はい」を選択してください。該当しない場合は「いいえ」を選択してください。注：正解ごとに1点が加算されます。

Answer Area

Statements	Yes	No
Prompt injection can cause data exposure and unintended system behavior.	☐	☐
Prompt injection can be used to embed malicious or harmful instructions.	☐	☐
Prompt injection is a security vulnerability unique to generative AI systems that interpret and respond to natural language inputs.	☐	☐

正解:

Answer Area

Statements	Yes	No
Prompt injection can cause data exposure and unintended system behavior.	☒	☐
Prompt injection can be used to embed malicious or harmful instructions.	☐	☐
Prompt injection is a security vulnerability unique to generative AI systems that interpret and respond to natural language inputs.	☐	☐

Explanation:

Answer Area

Statements	Yes	No
Prompt injection can cause data exposure and unintended system behavior.	☒	☐
Prompt injection can be used to embed malicious or harmful instructions.	☒	☐
Prompt injection is a security vulnerability unique to generative AI systems that interpret and respond to natural language inputs.	☒	☐

Microsoft

プロンプトインジェクションは、生成型AIのセキュリティリスクの一つで、攻撃者が（テキスト、ドキュメント、ウェブページ、ユーザー入力などに隠された）指示を挿入し、アシスタントの意図した動作を上書きまたは操作するものです。これにより、ポリシー制御の無視、安全でない出力の生成、機密情報の漏洩など、意図しない動作が発生する可能性があります。生成型AIシステムは自然言語の指示に従うため、適切な対策が講じられていない限り、悪意のあるコンテンツを優先するようにソーシャルエンジニアリングされる可能性があります。そのため、プロンプトインジェクションはデータ漏洩（例えば、信頼できる情報源から機密コンテンツを抽出しようとするなど）を引き起こしたり、モデルの動作をリダイレクトする有害な指示を埋め込んだりする可能性があります。Microsoftのような企業環境では、365 Copilotにおける対策としては、グラウンディング境界の設定、権限の制限、コンテンツのフィルタリング、および指示の階層化（システムポリシーがユーザー指示よりも優先される）などが挙げられます。ビジネスガバナンスの観点からは、ユーザーは信頼できない入力（メール、ドキュメント、Webテキストなど）を潜在的に悪意のあるものとして扱い、意思決定にAI出力を使用する際には、最小権限のアクセスと検証を適用する必要があります。

質問: 43

Microsoft 365 Copilot アプリでカスタム分析エージェントを作成します。このエージェントは、販売データを含む Microsoft Excel ファイルを知識として使用します。エージェントが、視覚化の作成、数学演算の実行、集計の作成、およびファイル内のデータの分析を実行できることを確認する必要があります。エージェントには何を追加すべきですか？

- A. コードインタープリタ
- B. 画像ジェネレーター
- C. 提案されたプロンプト
- D. テンプレート

正解: [\(正解を表示します\)](#)

Microsoft 365 CopilotでExcelファイルから構造化データを処理するカスタム分析エージェントを構築する場合、高度な分析機能が必要です。Microsoft AI Business Professionalのガイダンスによると、数学的計算の実行、集計の生成、グラフの作成、構造化データ分析の実施といったタスクには、単純なテキスト生成ではなく、プログラムによる実行機能が必要となります。コードインタープリタにより、エージェントは安全な実行環境でPythonベースの分析操作を実行できます。これにより、エージェントはデータセットの操作、合計値や平均値の計算、グループ化やフィルタリングの実行、Excelデータに基づいた棒グラフや折れ線グラフなどの視覚化の生成が可能になります。インタープリタは、自然言語による指示と実行可能な分析ロジックとの間のギャップを埋める役割を果たします。画像生成ツールは、クリエイティブなビジュアルコンテンツを作成するために設計されたものであり、構造化データ分析とは無関係です。提案されたプロンプトとテンプレートは、使いやすさと一貫性を向上させますが、計算機能や視覚化機能は提供しません。したがって、Excelの販売データに対して数学演算、集計、データ分析、および視覚化を可能にするには、エージェントに追加すべき適切なコンポーネントはコードインタープリタです。

質問: 44

ビジネスにおけるAIの潜在的な倫理的問題点として、次のうちどれが挙げられますか？

- A. AIは常に偏りのない結果を生み出す
- B. AIは意思決定、特に採用において偏りをもたらす可能性がある
- C. AIシステムは普遍的に透明性がある
- D. AIシステムは人間の監視の必要性を排除する

正解: ([正解を表示します](#))

AIモデルは、偏ったデータで学習されると、偏見を永続させたり、悪化させたりする可能性があります。例えば、特定のグループが過小評価されていた過去のデータで採用アルゴリズムを学習させた場合、意図せず特定の候補者を他の候補者よりも優遇してしまう可能性があります。

質問: 45

プロンプトに対して 申し訳ありませんが、この質問には回答できません。別のトピックを試してみてください。」という応答が返ってきた場合、考えられる原因は何でしょうか？

- A. 質問が曖昧すぎて、回答を引き出すことができません。
- B. このプロンプトには、安全ガイドラインに違反する表現が含まれています。
- C. プロンプトには5つ以上のリクエストが含まれています。
- D. プロンプトが許容されるコンテキストウィンドウよりも大きいです。

正解: ([正解を表示します](#))

Microsoft 365 Copilot で 申し訳ありませんが、この質問には回答できません。別のトピックを試してみてください。」というメッセージが表示される場合、通常は技術的な障害ではなく、セキュリティ、ポリシー、またはデータ機密性に関するトリガーが原因です。これは通常、クエリがコンテンツポリシーに違反した、ユーザーがアクセスできないデータを参照した、または責任ある AI ガイドラインに違反したことを示しています。

考えられる根本原因：

*-> 安全性およびコンテンツポリシー違反: クエリには、Microsoft の安全フィルターをトリガーするキーワードまたは意図 (禁止されているトピック、不適切なコンテンツなど) が含まれている可能性があります。

データの機密性またはアクセス権限 :Copilotは、閲覧権限のない情報にはアクセスできません。また、リクエストが組織の制限付きデータに関わる場合、Copilotは応答をブロックします。

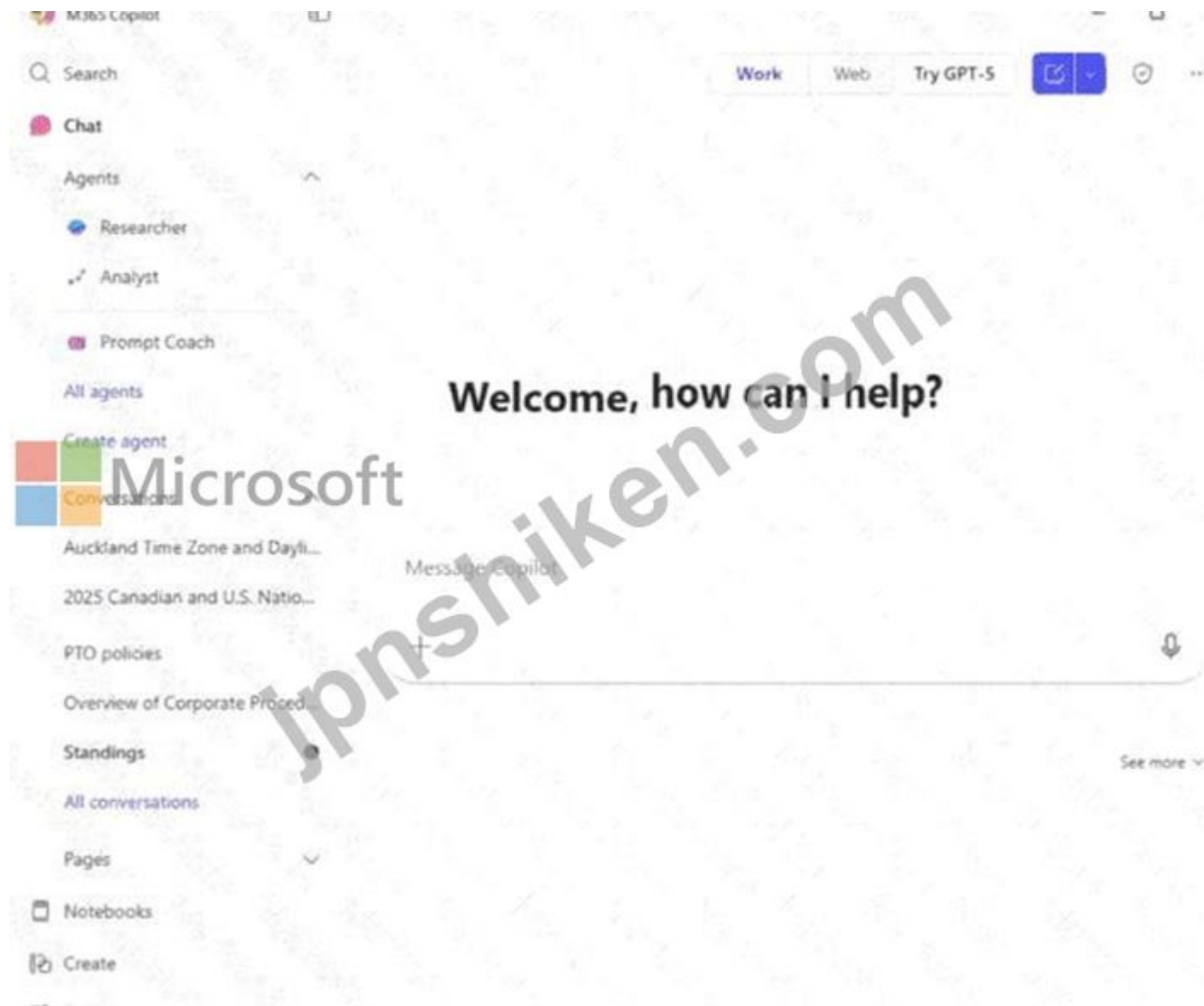
入力内容が不明瞭または曖昧 :AIが文脈を判断できないか、要求内容がAIの能力範囲外です。

一時的なサービス中断: Microsoft 365 では、需要の増加やバックエンドサービスの不具合により、一般的な拒否メッセージが表示される場合があります。

参照：

<https://learn.microsoft.com/en-us/answers/questions/4507476/when-office-365-tried-to-send-your-message-the-rec>

質問: 46



図に示すように、Microsoft 365 Copilotを開きます。
順位に関する会話から、どのようなことが推測できますか？

- A. この会話には匿名データのみが含まれています。
- B. 会話には検証済みの回答が含まれています。
- C. 会話がノートブックに追加されました。
- D. 会話には予定されたプロンプトが含まれています。
- E. 会話が共有されました。

正解: ([正解を表示します](#))

Microsoft AI Business Professional ドキュメントに関する、包括的かつ詳細な説明 (150～200語) :

Microsoft 365 Copilot アプリでは、会話リストに個々の会話タイトルの横にステータスインジケータを表示できます。図では、「Standings」会話の会話名の右側に、明確なインジケータ（緑色のバッジ）が表示されています。このバッジは、その会話に検証済みの回答が含まれていることを示すために使用されます。

検証済み応答インジケータは、ユーザーがより確固たる根拠とトレーサビリティに基づいて生成された出力（例えば、正確性を検証できる引用や参考文献を含む応答など）を迅速に認識できるようにすることを目的としています。これは、情報源に基づいた応答や検証済みの応答をより簡単に識別・検証できるようにすることで、AI出力への信頼性を向上させるというマイクロソフトのガイダンスに沿ったものです。

他のオプションは、表示されているインジケータと一致しません。共有またはノートブックに追加された会話は通常、異なる共有/ノートブックアイコンを使用し、スケジュールされたプロンプトは検証バッジではなく、スケジュール関連のインジケータで表示されます。匿名データ」は、Copilot が会話レベルでこのようにマークするものではありません。したがって、最も妥当な推論は、順位に関する会話には検証済みの回答が含まれているということである。

有効的な**AB-730**問題集はJPNTest.com提供され、**AB-730**試験に合格することに役に立ちます！JPNTest.comは今最新**AB-730**試験問題集を提供します。JPNTest.com AB-730試験問題集はもう更新されました。ここで**AB-730**問題集のテストエンジンを手に入れます。最新版のアクセス、<https://www.jpntest.com/shiken/AB-730-mondaishu> 113問、30%**ディスカウント**、特別な割引コード: **JPNshiken**」

質問: 47

「極秘」という機密ラベルが付けられたMicrosoft Word文書を開いています。

Microsoft PowerPoint から、Microsoft 365 Copilot を使用して Word 文書のプレゼンテーションを作成する予定です。その結果はどうなりますか？

A. Copilotがプレゼンテーションを作成し、ラベルの入力を求めます。

B. Copilot はプレゼンテーションを生成しますが、ラベルは適用しません。

C. Copilot がプレゼンテーションを作成し、「極秘」ラベルを適用します。

D. コパイロットはプレゼンテーションを生成できません。

正解: ([正解を表示します](#))

Microsoft 365 Copilot は、ドキュメントに適用される機密ラベルを含め、Microsoft Purview の情報保護を完全に尊重します。コンテンツが新しいコンテンツを生成するためのソースとして使用される場合 (たとえば、Word ドキュメントから PowerPoint プレゼンテーションを作成する場合)、Copilot はデータ保護ポリシーが保持され、継承されることを保証します。

元の Word 文書に 「極秘」のラベルが付いている場合、生成されたプレゼンテーションにも同じ機密性ラベルが自動的に付与されます。これにより、元のコンテンツに適用された分類、暗号化、およびアクセス制限が、派生コンテンツにも一貫して適用されます。この動作は、コンテンツの再利用や変換時に意図せずデータが漏洩するのを防ぐ、マイクロソフトのコンプライアンスおよびデータガバナンスモデルに準拠しています。

オプションAは誤りです。ソースに既にラベルが付いている場合、Copilotは手動での再分類を必要としません。オプションBは誤りです。コンテンツ生成中にラベルが削除されることはありません。オプションDは誤りです。ユーザーがアクセス権を持っている場合、Copilotはラベル付きドキュメントからコンテンツを生成できます。

したがって、このプレゼンテーションには 「極秘」のラベルが付与されます。

質問: 48

あなたは、自社のマーケティングチーム向けに、Microsoft 365 Copilotアプリでカスタムエージェントを作成しています。

このエージェントは、コピー、ロゴ、アートワークなどのマーケティング資料を作成するために使用されます。

エージェントに何を追加すべきでしょうか？複数の選択肢で目的を達成できる可能性があります。最適な選択肢を選んでください。

A. テンプレート

B. 画像ジェネレーター

C. コードインタープリタ

D. 提案されたプロンプト

正解: ([正解を表示します](#))

質問: 49

あなたはMicrosoft 365のサブスクリプションをお持ちです。

お客様はMicrosoft 365 Copilotライセンスをお持ちではありません。
以下の各記述について、正しい場合は「はい」を選択してください。そうでない場合は「いいえ」を選択してください。
注：正解ごとに1ポイントが加算されます。

Answer Area	
Statements	Yes No
Microsoft 365 Copilot Chat lets you upload documents from your local computer.	☐ ☐
Microsoft 365 Copilot Chat is included with Microsoft 365 Business Standard.	☐ ☐
Microsoft 365 Copilot Chat lets you create and use agents that can access Microsoft SharePoint folders.	☐ ☐

正解:

Answer Area	
Statements	Yes No
Microsoft 365 Copilot Chat lets you upload documents from your local computer.	☒ ☐
Microsoft 365 Copilot Chat is included with Microsoft 365 Business Standard.	☒ ☐
Microsoft 365 Copilot Chat lets you create and use agents that can access Microsoft SharePoint folders.	☐ ☒

質問: 50
Microsoft 365 Copilotで、プロジェクトレポートのドラフト作成を支援するプロンプトを作成します。
プロンプトがCopilotプロンプトギャラリーで利用可能である必要があります。
まず最初に何をすべきでしょうか？

- A. ノートを作成します。
- B. 薬剤を追加する。
- C. ページを作成します。
- D. プロンプトを実行します。

正解: [\(正解を表示します\)](#)

Microsoft AI Business Professional ドキュメントに関する、包括的かつ詳細な説明 (150~200語) :

Microsoft 365 Copilot では、Copilot プロンプト ギャラリーを使用して、作成およびテスト済みのプロンプトを保存して再利用します。プロンプトをギャラリーに保存するには、まず Copilot でそのプロンプトが実行済みのインタラクションとして認識され、再利用可能なプロンプトとしてキャプチャされる必要があります (多くの場合、コンテキストと意図された結果も一緒に記録されます)。

プロンプト管理に関するマイクロソフトのガイダンスでは、プロンプトを実行して出力結果を確認し、目的の結果が得られたらプロンプトを保存して再利用することを推奨しています。

したがって、オプションDが正しい最初のステップです。プロンプトを実行してください。実行後、プロンプトをプロンプトギャラリーに保存することで、今後のプロジェクトレポートや組織内での共有（ポリシーによる）のために簡単に検索・再利用できるようになります。

ノートブックを作成することは、関連する会話全体にわたって参考資料を整理するのに役立ちますが、プロンプトをギャラリーに公開するために必須ではありません。エージェントを追加するのは、知識と能力を備えた専門的なアシスタントを作成するためであり、単一のプロンプトを保存するためではありません。ページを作成するのは、生成されたコンテンツを洗練させ、共同作業を行うためであり、プロンプトをギャラリーで利用可能にするためではありません。

したがって、最初の手順はプロンプトを実行することです。

質問: 51

ホットスポットに関する質問

文を正しく完成させる選択肢を選びなさい。

Answer Area

If you start a temporary chat in Microsoft 365 Copilot, and then start a new chat, all the prompts and responses from the temporary chat will be



deleted immediately.

deleted after one hour.

moved to a private notebook.

moved to your Microsoft OneDrive.

正解:

Answer Area

If you start a temporary chat in Microsoft 365 Copilot, and then start a new chat, all the prompts and responses from the temporary chat will be



deleted immediately.

deleted after one hour.

moved to a private notebook.

moved to your Microsoft OneDrive.

Explanation:

ボックス：即座に削除

Microsoft 365 Copilot で一時チャットを開始してから新しいチャットを開始すると、一時チャットのすべてのプロンプトと応答は_____ Microsoft 365 Copilot の一時チャット機能を使用すると、そのセッションのすべてのプロンプトと応答は、セッションが閉じられるか新しいチャットが開始されるとすぐに破棄され、チャット履歴に保存されないように設計されています。この機能は、機密性の高い問い合わせや、保存されない一時的な問い合わせのために特別に設計されています。

Copilotの一時チャットに関する重要な詳細：

プライバシーとデータ :チャット履歴にデータが保存されないため、プロンプトや機密性の高い質問をテストするのに最適です。

有効化 :セッション中に有効にするには、設定、特に個人設定から有効化する必要があります。

代替案：一時的なチャットを使用しない場合、Microsoft 365 Copilot は通常、ユーザーが中断したところから再開できるように、やり取りの履歴を保持します。

質問: 52

ホットスポットに関する質問

以下の各記述について、正しい場合は「はい」を選択してください。そうでない場合は「いいえ」を選択してください。

注：正解ごとに1ポイントが加算されます。

Answer Area

Statements

Microsoft 365 Copilot can use its own model knowledge to make the response of a prompt more specific.

Microsoft 365 Copilot can use business data that will provide additional context to make the response of a prompt more specific.

Microsoft 365 Copilot can use the latest information from the web that will provide additional context to make a prompt more specific.

Yes

No

☐

☐

☐

☐

☐

☐

正解:

Answer Area

Statements

Microsoft 365 Copilot can use its own model knowledge to make the response of a prompt more specific.

Microsoft 365 Copilot can use business data that will provide additional context to make the response of a prompt more specific.

Microsoft 365 Copilot can use the latest information from the web that will provide additional context to make a prompt more specific.

Yes

No

☒

☐

☒

☐

☒

☐

Explanation:

ボックス1 :はい

はい。Microsoft 365 Copilot は、独自のモデル知識を活用して、プロンプトに対する応答をより具体的にすることができます。

Microsoft 365 Copilotは、豊富な内部モデル知識と組織のデータに基づいた分析を組み合わせることで、具体的で関連性の高い、実行可能な回答を提供します。

Copilotは、Microsoft Graphを使用してメール、チャット、ドキュメントを取り込む「ブラウディング」を多用する一方で、コンテキストを理解し、意味を推測し、詳細を補完するために、基盤となる大規模言語モデル（LLM）にも依存しています。

ボックス2 :はい

はい。Microsoft 365 Copilotは、ビジネスデータを利用して追加のコンテキストを提供し、プロンプトへの応答をより具体的にすることができます。

Microsoft 365 Copilot は、組織のビジネスデータを活用し、「ブラウディング」と呼ばれるプロセスを通じて、応答の精度と関連性を向上させます。Copilot は Microsoft Graph に接続することで、メール、チャット、ドキュメント、カレンダー、会議などの情報にアクセスし、分析、統合することができます。

ボックス3 :はい

はい。Microsoft 365 Copilot は、Web から最新の情報を取得して追加のコンテキストを提供し、プロンプトをより具体的にすることができます。

Microsoft 365 Copilot は、Webブラウディングを使用して、インターネット上の最新情報を応答に組み込みます。このプロセスにより、Copilot は初期トレーニングデータや組織内のファイルを超えたコンテキストを提供できます。

ウェブコンテキストがプロンプトをどのように強化するか

リアルタイム情報 :コパイロットは、最新ニュース、規制の変更、四半期決算などの最新の出来事にアクセスできるため、トレーニングデータの期限によって対応が制限されることはありません。

自動検索クエリ :プロンプトに外部コンテキストが必要な場合、Copilotは（いくつかのキーワードを使用して）絞り込んだ検索クエリを自動的に生成し、Bing検索サービスに送信します。

直接 URL 参照: プロンプトで Web ページの URL を明示的に指定できます (例:

この記事 요약してください: [URL]」と入力すると、Copilot はその特定の情報源から直接情報を抽出して使用するようになります。

包括的な統合：多くの場合、CopilotはWebデータと社内業務データ（Microsoft Graphから取得）を組み合わせることで、組織固有の情報とグローバルな最新情報を統合した回答を提供できます。

質問: 53

文を正しく完成させる選択肢を選びなさい。

Answer Area

The Common Data Model

Enterprise data protection (EDP)

Sensitivity labels

Zero Trust

in Microsoft 365 Copilot ensures that business data stays within a Microsoft 365 tenant and is **NOT** used to train AI models.



正解:

Answer Area

The Common Data Model

Enterprise data protection (EDP)

Sensitivity labels

Zero Trust

in Microsoft 365 Copilot ensures that business data stays within a Microsoft 365 tenant and is **NOT** used to train AI models.



Explanation:

Answer Area

Enterprise data protection (EDP)

in Microsoft 365 Copilot ensures that business data stays within a Microsoft 365 tenant and is **NOT** used to train AI models.



エンタープライズデータ保護 (EDP) (商用一タ保護とも呼ばれる)は、Microsoft 365 Copilotが組織のデータをエンタープライズレベルのセキュリティとプライバシーの保証の下で取り扱うことを保証する機能です。

EDPを使用すると、Copilotは顧客のMicrosoft 365境界内でプロンプトと応答を処理し、テナントの分離とIDベースのアクセス制御を尊重します。つまり、Copilotはサインインしたユーザーがアクセスを許可されているデータのみを取得して使用し、データはMicrosoft 365のコンプライアンス機能 (保持 eDiscovery、監査、Purview制御など)によって管理されます。特に重要なのは、EDPによって組織のプロンプトと取得されたビジネスコンテンツが基盤となるAI基盤モデルのトレーニングに使用されないことが保証される点です。これは、機密性の高いビジネス情報を保護し、規制要件や契約要件を満たすために不可欠です。その他のオプション (共通データモデル、機密ラベル、ゼロトラスト)は、データ構造、分類、セキュリティ体制をサポートしますが、テナントデータが保護され、モデルのトレーニングに使用されないことをCopilotが保証するという明確な保証を示すものではありません。

質問: 54

WebブラウザーからMicrosoft 365 Copilotにアクセスする必要があります。どのURLを使用すればよいですか？

- A. <https://m365.cloud.microsoft>
- B. <https://copilotstudio.microsoft.com>

- C. https://myapps.microsoft.com
- D. https://myaccountmicrosoft.com

正解: (正解を表示します)

Microsoft 365 Copilot は、企業ユーザー専用の Web インターフェースからアクセスできます。Microsoft 365 Copilot への正しい Web エントリ ポイントは https://m365.cloud.microsoft です。このアドレスから、Microsoft 365 環境内の Copilot 機能に認証された状態でアクセスできます。

このURLは、ユーザーをMicrosoft 365エコシステムへと誘導し、そこでCopilotはSharePoint、OneDrive、Teams、Outlookなどの組織データと統合されます。これにより、ユーザーはMicrosoft Entra IDを通じて認証され、テナントポリシーに従ってアクセス制御が確実に適用されます。

オプションBは、Microsoft 365 Copilotチャット機能へのアクセスではなく、カスタムコパイロットやエージェントの構築と管理に使用されるCopilot Studioを指します。オプションC (マイアプリ)は、一般的なアプリケーションランチャーポータルです。オプションDは、アカウント管理URLが正しくなく、Copilotへのアクセスは提供されません。

したがって、WebブラウザからMicrosoft 365 Copilotにアクセスするには、正しいURLはhttps://m365.cloud.microsoftです。

質問: 55

あなたはMicrosoft 365のサブスクリプションをお持ちです。

お客様はMicrosoft 365 Copilotライセンスをお持ちではありません。

以下の各記述について、正しい場合は「はい」を選択してください。そうでない場合は「いいえ」を選択してください。

注：正解ごとに1ポイントが加算されます。

正解:

Answer Area		Microsoft	
Statements	Yes	No	
Microsoft 365 Copilot Chat lets you upload documents from your local computer.	☒	☐	
Microsoft 365 Copilot Chat is included with Microsoft 365 Business Standard.	☒	☐	
Microsoft 365 Copilot Chat lets you create and use agents that can access Microsoft SharePoint folders.	☐	☒	

Explanation:

Answer Area		Microsoft	
Statements	Yes	No	
Microsoft 365 Copilot Chat lets you upload documents from your local computer.	☒	☐	
Microsoft 365 Copilot Chat is included with Microsoft 365 Business Standard.	☒	☐	
Microsoft 365 Copilot Chat lets you create and use agents that can access Microsoft SharePoint folders.	☐	☒	

Microsoft 365 Copilot Chat は、Business Basic、Business Standard、Business Premium、E3、E5 などの対象となる Microsoft 365 サブスクリプションをお持ちのユーザーには追加料金なしで含まれています。そのため、Microsoft 365 Copilot アドオン ライセンスをお持ちでないユーザーでも、Copilot Chat にアクセスできます。

Copilot Chatでは、セッション中にローカルデバイスからドキュメントをアップロードして、要約、分析、および文書作成の支援を受けることができます。ただし、組織のSharePointフォルダーにアクセスするエージェントの作成など、高度なエンタープライズ統合機能を利用するには、Microsoft 365 Copilotライセンスが必要です。

エージェントの作成とエンタープライズデータの基盤構築は、Microsoft Graphとの統合を活用しており、ライセンスされたCopilotサービスに関連付けられたプレミアムCopilot機能とみなされています。

この違いは、マイクロソフトのライセンスモデルを反映したものであり、基本的なAIチャットへのアクセスは対象となるサブスクリプションに含まれていますが、Microsoft 365アプリとの高度な統合やエンタープライズデータエージェントを利用するには、追加のCopilotライセンスが必要です。

質問: 56

Microsoft 365 Copilot の会話が複数存在します。

会話をまとめておけば、より簡単に検索できるだけでなく、会話間で同じ参照資料を共有できます。

目標を達成するための最善策は何ですか？複数の選択肢が目標を達成する可能性があります。最も適切な選択肢を選んでください。

A. ノート

B. エージェント

C. アプリ

D. ページ

正解: (正解を表示します)

Microsoft AI Business Professional ドキュメントに関する、包括的かつ詳細な説明 (150~200語) :

Microsoft 365 Copilotでは、ノートブックは関連する作業を単一の再利用可能なワークスペースに整理するために設計されています。

ノートブックでは、複数のCopilot会話をグループ化し、共有の参照資料（例えば、同じファイル、リンク、メモなど）に関連付けることができます。これは、質問にある2つの要件、すなわち(1)会話を1か所に集めることで検索しやすくすること、(2)会話の根拠と継続性を確保するために同じ参照元を使用できるようにすること、に直接対応しています。

エージェントは、事前定義された指示、機能、および オプションで）構成済みの知識ソースを備えた、専門的なコパイロット体験が必要な場合に最適です。ただし、エージェントは主に複数の既存の会話を収集 整理するための ロンテナ」。

ページは、共同作業のために出力（生成されたレポートなど）をキャプチャおよび編集するために使用されるものであり、共有参照を用いて複数の会話を整理するために使用されるものではありません。アプリはより広範な製品インターフェースであり、会話の整理という要件を満たすものではありません。

したがって、最善の解決策はノートパソコンを使用することです。

質問: 57

文を正しく完成させる選択肢を選びなさい。



正解:



質問: 58

Microsoft Excel ワークブックを開いており、その中にテーブルがあります。そのテーブルには売上データと以下の列が含まれています。

- * 注文日
- * 注文番号
- * 額

あなたは、Excel の Microsoft Copilot を使用して、表に示された売上データの月次サマリーを生成する予定です。

効果的な要約を作成するために、設問には何を含めるべきでしょうか？複数の選択肢が目的を達成できる可能性があります。最も適切な回答を選択してください。

- A. 希望する回答形式
- B. ワークシートの特定のセル範囲
- C. ワークブックのファイル名
- D. 要約の明確な目的
- E. 月間合計を計算する式

正解: A,D ([コメントを发表する](#))

Excel で Copilot を使用して効果的な月次サマリーを生成するには、Microsoft のプロンプトガイダンスでは、明確な意図と期待される出力構造という 2 つの重要な要素を強調しています。まず、「注文日と金額に基づいて月ごとの総売上を集計し、前月比の変化を強調表示する」など、目標を明確に記述する必要があります。これにより、Copilot は適切な集計および分析動作を実行します (オプション D)。

第二に、希望するフォーマットを指定することで、使いやすさが向上し、曖昧さが軽減されます。たとえば、「月、総売上高、注文数、平均注文額を含む表」や「箇条書きの要約と簡単な要約表」を要求することで、Copilot はすぐに使用できるフォーマットで結果を返します (オプション A)。

データが既に認識済みの Excel テーブルに格納されている場合、特定のセル範囲 (オプション B) を指定する必要は通常ありません。Copilot はテーブルのコンテキストに基づいて処理を実行できるためです。ワークブックのファイル名 (オプション C) は分析に役立ちません。

Copilot は月ごとの合計を計算できるため、数式 (オプション E) を提供する必要はありません。特定の計算方法が必要な場合は数式を使用できますが、効果的な要約を作成するための最適な要素ではありません。

したがって、最適な答えは A と D です。

質問: 59

ホットスポットに関する質問

文を正しく完成させる選択肢を選びなさい。

Answer Area

You are using Microsoft 365 Copilot during a Microsoft Teams meeting. After the meeting, you can only

schedule a follow-up meeting
create a summary of the meeting chat
identify content that was attached to the meeting
generate a recap of what was discussed during the meeting

正解:

Answer Area

You are using Microsoft 365 Copilot during a Microsoft Teams meeting. After the meeting, you can only

schedule a follow-up meeting
create a summary of the meeting chat
identify content that was attached to the meeting
generate a recap of what was discussed during the meeting

Explanation:

ボックス：会議中に話し合われた内容の要約を作成する

Microsoft Teams 会議中に Microsoft 365 Copilot を使用しています。会議後、会議が文字起こしされた場合にのみ、_____を行うことができます。

Microsoft Teamsでは、Microsoft 365 Copilotが会議後の要約を生成するために、会議の議事録が必要です。

文字起こし機能を有効にせずに（会議中のみ」モード）Copilotを使用する場合、会議終了と同時に削除される一時的な音声テキスト変換ストリームに基づいて、リアルタイムの分析結果が得られます。

会議後要約の主要要件

文字起こしは必須です。会議後に「要約」タブで概要やアクションアイテムを確認したり、Copilotに質問したりするには、セッション中にリアルタイム文字起こしがオンになっている必要があります。

会議中および会議後」設定：会議の主催者は、「ロパイロットを許可する」オプションを「会議中および会議後」に設定して、必要なデータが後で使用するために保存されるようにする必要があります。

永続性：会議の一部のみで文字起こしが有効になっていた場合、Copilot は文字起こしされた部分のみを要約できます。

質問: 60

以下のAIアプリケーションのうち、顧客体験のパーソナライズに役立つものはどれですか？

A. 顧客セグメンテーションモデル

B. 不正検出システム

C. 自動財務報告

D. ITインフラ監視ツール

正解: ([正解を表示します](#))

AIを活用した顧客セグメンテーションモデルは、顧客データを分析し、類似した行動、嗜好、特性に基づいて顧客をグループ化します。これにより、企業はパーソナライズされたサービス、製品、またはマーケティングキャンペーンを提供できるようになります。

質問: 61

Microsoft 365 Copilotで、提案に関する情報を取得するためのプロンプトを作成しています。

回答は提案書の情報に基づいていることを確認する必要があります。

目標を達成するための最善のアプローチは何ですか？複数の選択肢が目標を達成できる可能性があります。最も適切な回答を選択してください。

A. 対象となる読者についての背景情報を追加してください。

B. コパイロットに、トレーニングデータに基づいて提案の詳細を推測するように指示します。

C. プロンプト内の提案内容を参照してください。

D. コパイロットに達成させたい具体的な目標を追加してください。

正解: ([正解を表示します](#))

具体的な提案に基づいた効果的なプロンプトを作成するには、Microsoft 365 Copilot の「スラッシュコマンド」機能を使用してファイルを直接参照します。

地に足の着いたプロンプトを作成する

効果的なグラウンデッドプロンプトは、目標、状況、期待、情報源というフレームワークに沿っています。

ソースを参照する: プロンプトの開始時または終了時に、特定の提案への参照を含めるには、「」の後にファイル名を入力します (例: /[提案名].docx)。

目標を明確にする: 必要な情報を具体的に記述する (例: 主要な成果物を要約する)。

背景情報を提供してください: なぜそれが必要なのかを説明してください (例: 今後のクライアントとのキックオフミーティングのため)。

期待値を設定する: 形式、トーン、長さを指定する (例: 箇条書きで5項目)。

プロンプト例

「[Project_Proposal_v2.docx]に基づいて、主要なプロジェクト目標を要約し、リスクの高い3つの項目をリストアップしてください。プロフェッショナルなトーンで、リーダーシップチーム向けの簡潔なエグゼクティブサマリー形式で回答を作成してください。」参照:

<https://alistar.net/en/blog/prompting-in-microsoft-copilot>

有効的な**AB-730**問題集はJPNTTest.com提供され、**AB-730**試験に合格することに役に立ちます！JPNTTest.comは今最新**AB-730**試験問題集を提供します。JPNTTest.com AB-730試験問題集はもう更新されました。ここで**AB-730**問題集のテストエンジンを手に入れます。最新版のアクセス、<https://www.jpntest.com/shiken/AB-730-mondaishu> 113問、30%**ディスカウント**、特別な割引コード: **JPNshiken**」

質問: 62

企業がAIソリューションを導入する際に直面する主な課題は何ですか？

A. AIは機能するためにデータを必要としません

B. トレーニング用の大規模で高品質なデータセットの管理と処理

C. AIを完全に透明化する

D. AIは人間の労働者を完全に置き換えることができる

正解: **B** ([コメントを发表する](#))

AIシステムが効果的に機能するには、大量の高品質データが必要です。最大の課題の一つは、データがクリーンで正確かつAIモデルにとって関連性のあるものであることを確認することです。データ品質が低いと、不正確な結果につながる可能性があるからです。

質問: **63**

Microsoft 365 Copilot を使用します。

以下の各記述について、正しい場合は「はい」を選択してください。そうでない場合は「いいえ」を選択してください。

注：正解ごとに1ポイントが加算されます。

Answer Area

Statements	Yes	No
You can delete your conversation history only if your administrator allows you to do so.	☐	☐
When you delete a conversation, the associated files stored in Microsoft SharePoint are also deleted.	☐	☐
When you uninstall a Copilot agent, all the conversations associated with the agent are retained.	☐	☐

正解:

Answer Area

Statements	Yes	No
You can delete your conversation history only if your administrator allows you to do so.	☒	☐
When you delete a conversation, the associated files stored in Microsoft SharePoint are also deleted.	☐	☒
When you uninstall a Copilot agent, all the conversations associated with the agent are retained.	☒	☐

Explanation:

Microsoft 365 Copilot は、企業ガバナンスおよびコンプライアンス管理の範囲内で動作します。会話履歴については、テナント管理者が保持ポリシーと削除ポリシーを設定できます。したがって、ユーザーは管理ポリシーで許可されている場合にのみ会話履歴を削除できるため、ステートメント 1 は正しいと言えます。

Copilotの会話を削除しても、チャットのやり取りは削除されますが、SharePointやOneDriveに保存されているドキュメントなどの基となるソースファイルは削除されません。これらのファイルは、Microsoft 365のストレージおよび保持ポリシーによって個別に管理されます。したがって、記述2は誤りです。

Copilotエージェントをアンインストールすると、エージェントインターフェースへのアクセス権は削除されますが、以前に生成された会話は削除されません。会話はユーザーアクティビティ履歴の一部として保存され、明示的に削除されない限り（ポリシーに従って）利用可能です。したがって、ステートメント3は正しいです。

したがって、正解は「はい」「いいえ」「はい」です。

質問: **64**

Microsoft 365 Copilot を使用します。

あなたは、機密情報を含む知識源を利用した会話をしていたことに気づく。

管理者の承認を必要とせずに会話データを削除する必要があります。可能であれば、その他の会話データは保持してください。

何をすべきでしょうか？

A. Microsoft 365 Copilot アプリ

- B. Microsoft 365 管理センター
- C. Microsoft Purviewコンプライアンスポータル
- D. Microsoft 365 Copilot のマイアカウントポータル

正解: [\(正解を表示します\)](#)

Microsoft 365 Copilotは、マイクロソフトのエンタープライズデータガバナンスおよびプライバシー原則に準拠しており、ユーザーは必要に応じて自身の会話履歴を管理できます。Microsoft AI Business Professionalのガイダンスによると、ユーザーは管理者の介入なしに、個人のアカウント設定から個々のCopilot会話履歴を直接確認および削除できます。

正解はDです。Microsoft 365 Copilotのマイアカウントポータルでは、個々のユーザーがアクティビティ履歴を管理でき、特定の会話を削除することも可能です。これにより、機密性の高いやり取りをピンポイントで削除しつつ、他の会話データは保持することができます。

オプションAは、Copilotアプリ自体にはアカウントレベルのアクティビティ管理機能が備わっていないため、誤りです。オプションBとCは、テナント全体のガバナンス、コンプライアンス、データ保持ポリシー、およびeDiscoveryに使用される管理ツールです。これらのポータルは通常、管理者権限を必要とし、個々のユーザーが特定の会話をセルフサービスで削除することを目的としたものではありません。

したがって、他のチャットに影響を与えたり、管理者の承認を必要としたりすることなく、機密性の高いCopilotの会話を1つだけ削除するには、Microsoft 365 Copilotのマイアカウントポータルが適切なツールです。

質問: 65

あなたはMicrosoft Outlookでの生産性を向上させるために、Microsoft 365 Copilotを使用しています。

Outlook の Copilot を使用して実行できる 2 つのタスクは何ですか？それぞれの正解には、完全なソリューションが示されています。

注：正解ごとに1ポイントが加算されます。

- A. 特定の書式を持つカスタムHTML署名を挿入します。
- B. 会話の文脈に基づいて、メールへの返信の下書きを作成します。
- C. 受信トレイにある未読メールの要約を作成します。
- D. フォルダ構造をカスタマイズしてメールを整理します。

正解: [\(正解を表示します\)](#)

[B]

Outlook の Microsoft 365 Copilot は、会話のコンテキストに基づいてカスタマイズされたメールの下書きを生成するため、ユーザーは返信をすばやく作成、要約、またはトーンや長さを調整できます。Copilot アイコンをクリックすると、返信を生成、カスタマイズしたり、コーチングのヒントなどの機能を利用してコミュニケーションを改善したりできます。

Outlookにおけるメール作成のためのCopilotの主な機能：

Copilotによる下書き :リボンからアクセスでき、プロンプトに基づいて新規メールまたは返信をゼロから作成できます。

状況に応じた応答 :Copilotはスレッド内の過去のメールを分析し、応答が適切であることを確認します。

トーンと長さの調整 :ユーザーは、より簡潔に、自信に満ちた、フォーマルに、またはカジュアルに下書きを修正できます。

「Copilotで返信」：特にOutlook for MacおよびWeb版では、このオプションを使用すると、事前に作成された返信、またはカスタム返信をすばやく利用できます。

コーチングのヒント :メール送信前に、メールの明瞭さ、トーン、感情表現を改善するための提案を提供します。

[C]

Outlook の Microsoft 365 Copilot を使用すると、未読メールや長文の会話スレッドを要約して表示できるため、必要な情報を素早く把握できます。

Outlookで要約する方法

スレッドを要約する：長いメールのやり取りを開き、メールスレッドの上部にある「Copilotによる要約」または「要約」を選択します。Copilotが重要なポイントをスキャンし、特定のメールへのリンクを含む番号付きの簡潔な要約を作成します。

*-> 未読/見逃したメールの要約: Copilot チャット ペイン (ナビゲーション バーにあります) を使用して、受信トレイ全体のより詳細な要約をリクエストできます。

プロンプトの例：「今日未読だったメールを要約してください」または「先週、上司から何を見落としていましたか？」

音声キャッチアップ (モバイル) Outlookモバイルアプリでは、音声キャッチアップ」をタップすると、Copilotが未読メールを要約し、ハンズフリーで操作をガイドしてくれます。

参照：
<https://support.microsoft.com/en-us/office/summarize-an-email-thread-with-copilot-in-outlook-a79873f2-396b-46dc-b852-7fe5947ab640>

質問: 66

文を正しく完成させる選択肢を選びなさい。



質問: 67

ホットスポットに関する質問

あなたはMicrosoft 365 Copilotライセンスをお持ちです。

複数のプロンプトを実行する予定です。

Copilotが各プロンプトに対して最適な応答を生成するようにするには、何を使用すればよいでしょうか？複数の選択肢で目的を達成できる場合があります。回答するには、回答エリアで最適なオプションを選択してください。

注：正解ごとに1ポイントが加算されます。



Microsoft

Prompt 1: Explain the differences between Contoso, Ltd, and Litware, Inc. Include sources and a table of the differences. Provide insights into why the differences exist.

Prompt 2: From /Sales_2022.xlsx /Sales_2023.xlsx /Sales_2024.xlsx create a pivot table of revenue by region and product, highlight MoM changes > 10%, and recommend 3 follow-up analyses.

Prompt 3: Generate a structured action plan from an ongoing meeting chat, grouping tasks by functional area, identifying owners where mentioned, and including any implied deadlines or dependencies.

The Analyst agent
Chat
The Researcher agent
The Analyst agent
Chat
The Researcher agent
The Analyst agent
Chat
The Researcher agent

正解:

Answer Area

Prompt 1: Explain the differences between Contoso, Ltd, and Litware, Inc. Include sources and a table of the differences. Provide insights into why the differences exist.

Prompt 2: From /Sales_2022.xlsx /Sales_2023.xlsx /Sales_2024.xlsx create a pivot table of revenue by region and product, highlight MoM changes > 10%, and recommend 3 follow-up analyses.

Prompt 3: Generate a structured action plan from an ongoing meeting chat, grouping tasks by functional area, identifying owners where mentioned, and including any implied deadlines or dependencies.

The Analyst agent
Chat
The Researcher agent
The Analyst agent
Chat
The Researcher agent
The Analyst agent
Chat
The Researcher agent

Explanation:

ボックス1：研究者エージェント

課題1 :Contoso, LtdとLitware, Incの違いを説明してください。出典と違いをまとめた表を含めてください。また、なぜ違いが生じるのかについても考察してください。

Microsoft 365 Copilot の研究者エージェントを使用してください。

Researcherは、ウェブと社内データの両方から情報を分析し、構造化された表や出典付きの洞察を含む包括的なレポートを作成する、詳細かつ多段階の調査タスク向けに設計されています。

Researcher Agentを選ぶ理由とは？複雑で多段階にわたる調査プロジェクトのための専門的なアシスタントとして機能するからです。Webや社内など様々な情報源から情報を収集し、統合し、構造化された形式で洞察を提示するように特別に設計されています。競合分析、市場調査、そして違いの「理由」を理解するのに最適です。

ボックス2 :アナリストエージェント

プロンプト 2: /Sales_2022.xlsx、/Sales_2023.xlsx、/Sales_2024.xlsx から、収益と製品のピボットテーブルを作成し、前月比で 10% を超える変化を強調表示し、3 つのフォローアップ分析を推奨します。

アナリストエージェントを使用してください。

アナリストエージェントは、Excelファイルなどの構造化データに対する高度な推論を行うために特別に設計されています。

複数ファイル分析：複数のファイル（例3年間の売上データ）にわたるデータを統合・分析し、傾向や異常値を特定できます。

高度な操作：思考の連鎖とPythonを使用して、単純な要約を超えた、前月比（MoM）のパーセント変化などの複雑な計算を実行します。

実用的な出力：特定されたデータパターンに基づいて、視覚化、要約、およびフォローアップ手順の推奨を生成することに特化しています。

ボックス3 :チャット

プロンプト3：進行中の会議のチャットから構造化された行動計画を作成し、タスクを機能領域ごとにグループ化し、言及されている場合は担当者を特定し、暗黙の期限と依存関係を含めます。この特定のリクエストに対して最も正確で体系的な結果を得るには、チャット（特に、TeamsまたはM365アプリによく含まれているMicrosoft 365 Copilotチャットインターフェース）を使用することをお勧めします。

専門のエージェントと比較して、チャットが適切な選択肢である理由は以下のとおりです。

コンテキスト認識：標準のチャットインターフェイスは、「M365グラフ」全体からデータを取得するように設計されています。最近のTeams会議の議事録や会議チャットをスキャンするネイティブ機能を備えています。

統合スキル :アナリストエージェントはExcel/データ処理に優れており、リサーチャーはWebベースのトレンドに最適ですが、コアとなるチャット機能は、社内コミュニケーションからの要約と抽出に最適化されています。

タスク識別 :Copilot Chatは、会話の中で「行動指向」の表現（例「私に対応します」や「金曜日までにお願いします」）を認識するように特別に訓練されています。

質問: 68

Microsoft 365 Copilot の会話が複数存在します。

会話をまとめておけば、より簡単に検索できるだけでなく、会話間で同じ参照資料を共有できます。

目標を達成するための最善策は何ですか？複数の選択肢が目標を達成する可能性があります。最も適切な選択肢を選んでください。

- A. ノート
- B. エージェント
- C. アプリ
- D. ページ

正解: A (コメントを發表する)

Microsoft 365 Copilotでは、ノートブックは関連する作業を単一の再利用可能なワークスペースに整理するために設計されています。

ノートブックでは、複数のCopilot会話をグループ化し、共有の参照資料（例えば、同じファイル、リンク、メモなど）に関連付けることができます。これは、質問にある2つの要件、すなわち(1)会話を1か所に集めることで検索しやすくすること、(2)会話の根拠と継続性を確保するために同じ参照元を使用できるようにすること、に直接対応しています。

エージェントは、事前定義された指示、機能、および オプションで）構成済みの知識ソースを備えた、専門的なコパイロット体験が必要な場合に最適です。ただし、エージェントは主に複数の既存の会話を収集・整理するための「ロンテナ」。

ページは、共同作業のために出力（生成されたレポートなど）をキャプチャおよび編集するために使用されるものであり、共有参照を用いて複数の会話を整理するために使用されるものではありません。アプリはより広範な製品インターフェースであり、会話の整理という要件を満たすものではありません。

したがって、最善の解決策はノートパソコンを使用することです。

質問: 69

Microsoft 365 Copilot アプリでエージェントを作成しています。

以下の各記述について、正しい場合は「はい」を選択してください。そうでない場合は「いいえ」を選択してください。
注：正解ごとに1ポイントが加算されます。

Answer Area

Statements

You can configure the agent to search shared mailboxes.

You can use natural language prompts to create the agent.

You can configure the agent to use another agent as a knowledge source.

Yes

No

☐

☐

☐

☐

☐

☐

正解:

Answer Area

Statements

You can configure the agent to search shared mailboxes.

You can use natural language prompts to create the agent.

You can configure the agent to use another agent as a knowledge source.

Yes

No

☒

☐

☒

☐

☐

☒

Explanation:

Microsoft 365 Copilot エージェントは、Microsoft 365 データ ソースと統合し、柔軟な自然言語による構成を提供するように設計されています。エージェントは、SharePoint、OneDrive、Exchange などの組織データに接続できます。共有メールボックスは Exchange Online の一部であり、Microsoft Graph を介してアクセスできるため (アクセス許可が必要)、エージェントは共有メールボックスを検索するように構成でき、ステートメント 1 は正しいです。

マイクロソフトは、エージェントの自然言語作成も可能にしており、ユーザーはコードを書く必要なく、会話形式の指示でエージェントの動作、目的、および挙動を記述できます。これによりエージェント作成が簡素化され、Copilotのローコード／ノーコードアプローチと合致するため、ステートメント2は正しいです。

しかし、エージェントは他のエージェントを知識源として使用することはできません。知識源は、ファイル、サイト、データリポジトリなどの構造化されたコンテンツに限定されます。エージェントはデータソースとしてネストまたは連鎖するのではなく、独立して動作するため、ステートメント3は誤りです。

したがって、正解は「はい」「はい」「いいえ」です。

質問: 70

ホットスポットに関する質問

あなたは、Microsoft Teamsを含むMicrosoft 365アプリとサービスを利用するビジネスユーザーです。

あなたは仕事用アカウントを持っています。

会議を円滑に進めるために、Microsoft 365 Copilot を利用したいと考えているのですね。

以下の各記述について、正しい場合は「はい」を選択してください。そうでない場合は「いいえ」を選択してください。

注：正解ごとに1ポイントが加算されます。

Answer Area

Statements	Yes	No
Copilot can answer questions about Teams meetings that you are NOT invited to.	☐	☐
Copilot can provide summaries and answer questions about chat messages, channel posts, and Teams meetings.	☐	☐
Copilot can provide a summary of all the upcoming Teams meeting details you are invited to next week.	☐	☐

正解:

Answer Area		Microsoft	
Statements		Yes	No
Copilot can answer questions about Teams meetings that you are NOT invited to.	☒	☐	
Copilot can provide summaries and answer questions about chat messages, channel posts, and Teams meetings.	☒	☐	
Copilot can provide a summary of all the upcoming Teams meeting details you are invited to next week.	☒	☐	

Explanation:

ボックス1 :はい

はい、Copilotはあなたが招待されていないTeams会議に関する質問にも回答できます。

Microsoft 365 Copilot は、会議が録画され、文字起こしされており、組織内で会議コンテンツにアクセスできる場合、参加しなかった Teams 会議に関する質問に回答できます。Copilot は会議の文字起こしを利用して、概要を生成し、アクション アイテムを特定し、会議後に特定の質問に回答します。

この機能に関する重要な詳細：

アクセス要件：会議の議事録と録画にアクセスする必要があります。通常、共有コンテンツを閲覧する権限を持つ社内会議である必要があります。

会議後のアクセス：会議終了後 招待リストに載っていない場合でも、Copilotを使用してTeamsのチャットやカレンダーで議論に関する質問をすることができます。

機能 :Copilotは、議事録を分析することで、重要な議論を要約し、決定事項を強調表示し、行動項目を一覧表示できます。

制限事項：非公開の会議、録画されていない会議、文字起こしされていない会議にはアクセスできません。また、チャットで共有された画像、Loopコンポーネント、またはファイルを要約することもできません。

この機能は、適切な組織権限を持っている限り、ユーザーが欠席した会議の内容を把握したり、招待されなかった関連性の高い議論から知見を得たりできるよう設計されています。

ボックス2 :はい

はい、Copilotはチャットメッセージ、チャンネル投稿、Teams会議に関する要約を提供したり、質問に回答したりできます。

Teamsに搭載されているMicrosoft 365 Copilotは、会議、チャットメッセージ、チャンネル投稿などにおいて、AIを活用したアシスタントとして機能し、要約を提供したり、特定の質問に回答したりします。

チームにおける主要な能力：

*-> 会議の要約とアクション: Copilot は、議論の要約、重要な決定事項の特定、担当者付きのアクション項目のリストなどを含む会議の「要約」を生成できます。

リアルタイム会議支援 :ライブ会議中に、Copilotに聞き逃した内容を要約してもらったり、合意点や相違点を強調表示してもらったり、未解決の質問をリストアップしてもらったりすることができます。

*-> チャットとチャンネルの会話の要約: 長いチャットスレッドやチャンネルの会話の場合、Copilot は要約し、重要なポイントを強調表示し、未回答の質問や要点を特定できます。
*-> 具体的な質問への回答: 過去の会話について質問することができます。
[人物]は予算について何と言っていましたか？」または「このチャットで共有されたリンクを見せてください」。

会議の準備：会議の前に、Copilotは会議のトピックに関連する文書、メール、過去のチャット履歴を要約することで、準備をサポートします。
Microsoft 365との連携 :Copilotで生成された要約、メモ、アクションアイテムは、WordやPlannerにエクスポートして、さらに共同作業を行うことができます。
ボックス3 :はい

はい、Copilotは来週招待されるすべてのTeams会議の詳細をまとめた概要を提供できます。
Microsoft 365 Copilot は、今後 1 週間の会議の概要を提供します。カレンダーを検索することで、会議の日付、時間、参加者の詳細を含むリストを作成できます。
週間サマリーの入手方法

Microsoft Teams または Microsoft 365 Chat で Copilot を開き、次のようなプロンプトを使用することで、この概要にアクセスできます。
今週はどんな予定が入っているの？」
来週はどんな予定が入っているの？」
来週の会議の予定を、日付と出席者を記載した表にまとめてください。」

質問: 71

あなたは、Microsoft Teamsを含むMicrosoft 365アプリとサービスを利用するビジネスユーザーです。職場アカウントをお持ちです。
会議を円滑に進めるために、Microsoft 365 Copilot を利用したいと考えているのですね。
以下の各記述について、正しい場合は「はい」を選択してください。そうでない場合は「いいえ」を選択してください。
注：正解ごとに1ポイントが加算されます。

Answer Area		
Statements	Yes	No
Copilot can answer questions about Teams meetings that you are NOT invited to.	☐	☐
Copilot can provide summaries and answer questions about chat messages, channel posts, and Teams meetings.	☐	☐
Copilot can provide a summary of all the upcoming Teams meeting details you are invited to next week.	☐	☐

正解:

Answer Area		
Statements	Yes	No
Copilot can answer questions about Teams meetings that you are NOT invited to.	☐	☒
Copilot can provide summaries and answer questions about chat messages, channel posts, and Teams meetings.	☒	☐
Copilot can provide a summary of all the upcoming Teams meeting details you are invited to next week.	☒	☐

Explanation:

Answer Area

Microsoft

Statements

	Yes	No
Copilot can answer questions about Teams meetings that you are NOT invited to.	☐	☒
Copilot can provide summaries and answer questions about chat messages, channel posts, and Teams meetings.	☒	☐
Copilot can provide a summary of all the upcoming Teams meeting details you are invited to next week.	☒	☐

Microsoft 365 Copilot は Microsoft 365 のアクセス許可 (「アクセス許可のトリミング」) を尊重します。つまり、表示を許可されているコンテンツにのみアクセスして要約できます。したがって、Copilot は招待されていない (またはアクセス権がない) Teams 会議に関する質問には回答できません。そのため、ステートメント 1 は正しくありません。

Copilot は、チャット メッセージ、チャンネルの投稿、会議コンテンツ (利用可能な場合は議事録、メモ、録画、会議の要約の詳細など) など、アクセス権のある Teams の成果物について要約し、質問に答えることができます。したがって、ステートメント 2 は「はい」です。

Copilot は、カレンダーや会議のコンテキスト (件名 時間、参加者、関連メール/ファイル、利用可能な議題) を使用して、招待された今後の会議を要約することで、スケジュールの準備にも役立ちます。

/notes)。これは、今後1週間の計画と優先順位付けをサポートするため、ステートメント3は「はい」です。

質問: 72

ビジネスにおいてAIを活用する主な目的は何ですか？

- A. 人間の従業員を完全に置き換える
- B. 顧客エンゲージメントを減らす
- C. 意思決定を強化し、プロセスを自動化する
- D. 業務運営の複雑性を高める

正解: [\(正解を表示します\)](#)

AIは、データパターンを分析し、反復作業を自動化することで、企業の意思決定能力向上を支援します。AIは人間の従業員を完全に置き換えるのではなく、顧客サポート、マーケティング、サプライチェーン管理などの分野で、ワークフローを最適化し、より賢明な意思決定を行うために活用されています。

質問: 73

Microsoft 365 Copilot を使用します。

最小限の手間で、すべての会話履歴を削除する必要があります。

目標を達成するための最善のアプローチは何ですか？複数の選択肢が目標を達成できる可能性があります。最も適切な回答を選択してください。

- A. Microsoft 365 Copilot Web アプリ
- B. Microsoft 365 のマイアカウントポータル
- C. Microsoft 365 Copilot デスクトップアプリ
- D. Windows 11 の設定アプリ

正解: **B** ([コメントを发表する](#))

Microsoft は、My Account ポータルを通じて一元化されたアクティビティ管理コントロールを提供しており、ユーザーはプライバシー設定、アクティビティ履歴、および Copilot を含む Microsoft 365 サービスに関連付けられたデータを管理できます。最小限の手間ですべての会話を削除する必要がある場合は、会話を個別に削除するよりも、アカウントレベルのアクティビティ管理ツールを使用するのが最も効率的な方法です。

マイアカウントポータルでは、Copilotのアクティビティデータを一括管理でき、ユーザーは会話履歴をまとめて削除できます。このアプローチは、Microsoftのプライバシー・バイ・デザインのフレームワークに準拠しており、管理者の介入なしに、ユーザーがAIによって生成されたインタラクション履歴を制御できるようにします。

CopilotのWebアプリまたはデスクトップアプリを使用する場合、通常は会話を1つずつ手動で削除する必要があります、手間がかかります。Windows 11の設定アプリは、Microsoft 365 Copilotのデータ管理とは関係ありません。

したがって、すべてのCopilot会話を効率的かつ最小限の手間で削除するには、Microsoft 365のマイアカウントポータルを使用するのが正しい方法です。

質問: 74

Microsoft 365 Copilot の研究者エージェントを使用してプロンプトを実行します。

以下の各記述について、正しい場合は「はい」を選択してください。そうでない場合は「いいえ」を選択してください。

注：正解ごとに1ポイントが加算されます。

Answer Area

Statements	Yes	No
You can continue the conversation in Copilot in Word.	☐	☐
You can continue the conversation in Copilot for Teams.	☐	☐
You can continue the conversation in Copilot in Outlook.	☐	☐

正解:

Answer Area

Statements	Yes	No
You can continue the conversation in Copilot in Word.	☒	☐
You can continue the conversation in Copilot for Teams.	☒	☐
You can continue the conversation in Copilot in Outlook.	☒	☐

質問: 75

他社の同僚が、あるプロンプトへのリンクを共有してくれた。

リンクを選択すると、次の応答が表示されます。プロンプトが見つかりません。申し訳ありませんが、プロンプトは現在利用できないようです。」

この反応の考えられる原因は何ですか？

A. プロンプトはあなたの組織外です。

B. このプロンプトはスケジュールされたプロンプトです。

C. プロンプトが古くなっています。

D. プロンプトには、機密ラベルが適用されたファイルが含まれています。

正解: (正解を表示します)

質問: 76

文を正しく完成させる選択肢を選びなさい。

Answer Area

The Common Data Model

Enterprise data protection (EDP)

Sensitivity labels

Zero Trust

in Microsoft 365 Copilot ensures that business data stays within a Microsoft 365 tenant and is **NOT** used to train AI models.

Microsoft

正解:

Answer Area

The Common Data Model

Enterprise data protection (EDP)

Sensitivity labels

Zero Trust

in Microsoft 365 Copilot ensures that business data stays within a Microsoft 365 tenant and is **NOT** used to train AI models.

Microsoft

有効的な**AB-730**問題集はJPNTest.com提供され、**AB-730**試験に合格することに役に立ちます！JPNTest.comは今最新**AB-730**試験問題集を提供します。JPNTest.com AB-730試験問題集はもう更新されました。ここで**AB-730**問題集のテストエンジンを手に入れます。最新版のアクセス、<https://www.jpntest.com/shiken/AB-730-mondaishu> 113問、30%**ディスカウント**、特別な割引コード: **JPNshiken**」

質問: 77

Microsoft 365 Copilot の会話が開いています。

会話中は、Agent1という名前のエージェントとチャットする必要があります。

Agent1を呼び出すには、何を入力すればよいですか？

- A. [エージェント1]
- B. #エージェント1
- C. /エージェント1
- D. @Agent1

正解: (正解を表示します)

Microsoft 365 Copilot の会話では、@ 記号を使用して特定のエージェントをチャットに追加できます。ただし、通常は @ の後に実際のエージェント名を続けます (例: @Salesforce または @CRM エージェント)。

参照：

<https://support.microsoft.com/en-us/office/find-and-add-copilot-agents-to-group-chats-in-microsoft-teams-4a837195-3d75-438f-a336-840c16a74432>

質問: 78

ホットスポットに関する質問

Microsoft 365 Copilot のプロンプト スケジュール機能には、どのような 2 つの制限がありますか？回答するには、回答領域で適切なオプションを選択してください。

注：正解ごとに1ポイントが加算されます。

Answer Area

You can schedule the prompt to run as often as:

Once per hour

Once per day

Once per week

The maximum number of times that a scheduled prompt can run is:

15 times

365 times

Unlimited

 Microsoft

正解:

Answer Area

You can schedule the prompt to run as often as:

Once per hour

Once per day

Once per week

The maximum number of times that a scheduled prompt can run is:

15 times

365 times

Unlimited

 Microsoft

Explanation:

ボックス1 :1日1回

プロンプトの実行頻度は、以下のとおり設定できます。

Microsoft 365 Copilot では、以下の頻度と実行制限を設定してプロンプトをスケジュールできます。

繰り返し頻度 :プロンプトを毎日、毎週、または毎月実行するように設定できます。

実行回数制限 :スケジュールされたプロンプトは、最大15回まで実行できます。この制限に達すると、スケジュールは停止し、手動で再起動するか、再作成する必要があります。

アクティブプロンプト数の制限：通常ユーザーは同時に10個のアクティブなスケジュール済みプロンプトしか設定できません。

ボックス2 :15回

スケジュールプロンプトが実行できる最大回数は

質問: **79**

あなたは、Microsoft 365 Copilot と Microsoft 365 Copilot Chat の違いを比較しています。

両方のバージョンで利用できる機能は何ですか？

A. 研究エージェント

B. 副操縦士ページ

C. コパイロットノート

正解: ([正解を表示します](#))

Microsoft 365 CopilotとMicrosoft 365 Copilot Chatの両方で利用できる重要な機能の一つに、エンタープライズデータ保護 (EDP)があります。これは、ユーザーデータやプロンプトが基盤となるAIモデルのトレーニングに使用されないようにする機能です。

どちらのバージョンも、職場または学校のアカウントでサインインすると、以下の主要な生産性向上機能をサポートします。

ウェブベースのチャット :どちらも、公開されているウェブデータと最新の大規模言語モデル (LLM)に基づいて回答を生成できます。

ファイルアップロード :どちらの機能も、ユーザーが要約や分析のためにファイルをアップロードすることを可能にします。

画像生成 :どちらの機能も、チャットインターフェース内で直接画像を作成できます。

*-> Copilot Pages: どちらも、AIが生成した応答を編集・共有可能なドキュメントに変換できます。

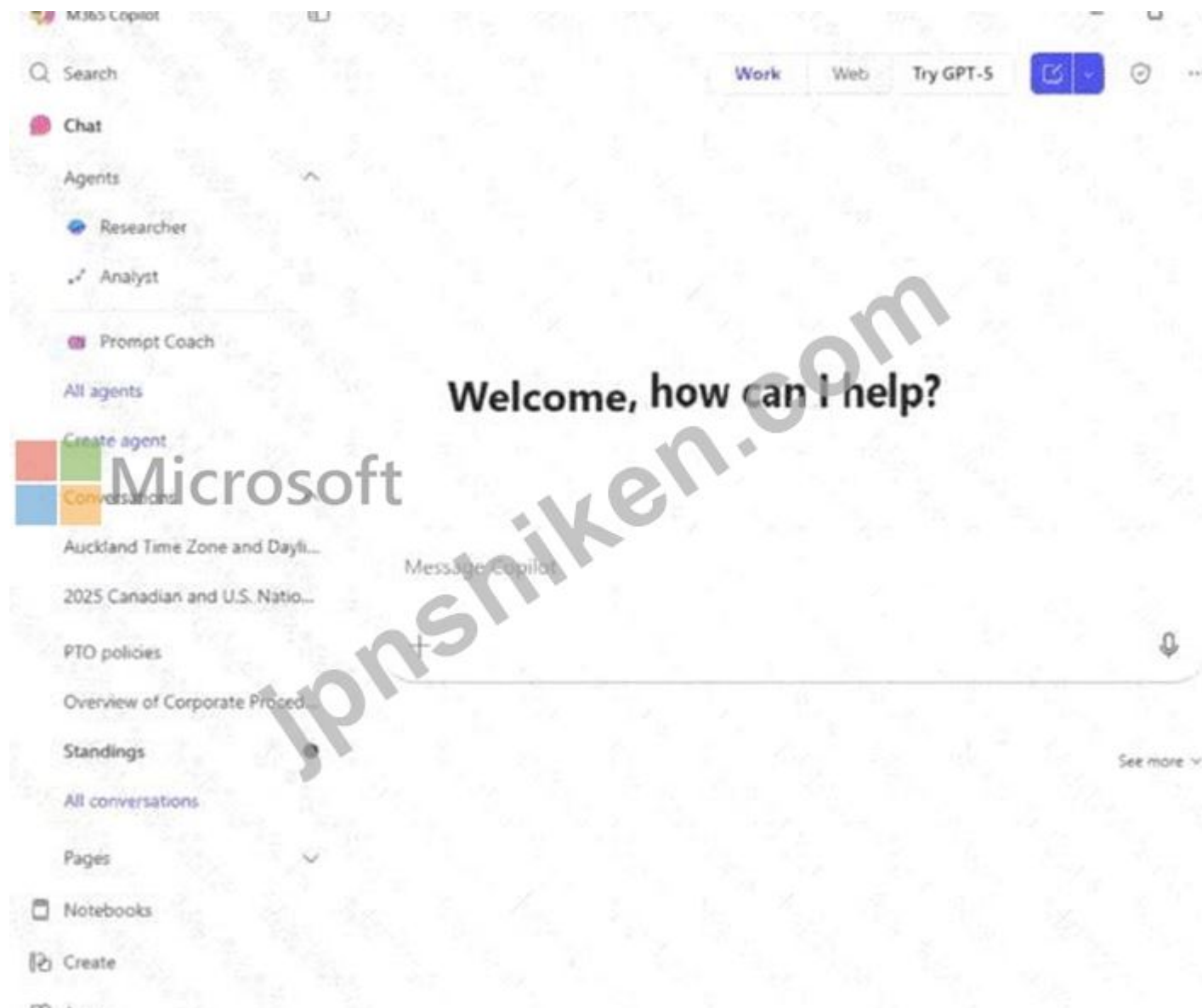
コンテキスト認識 :どちらのバージョンも、サイドペインで開いているファイル (Word、Excel、PowerPoint) やメール (Outlook) のコンテキストを理解できます。

参照 :

[https://support.microsoft.com/en-us/topic/how-copilot-chat-works-with-and-without-a-microsoft-](https://support.microsoft.com/en-us/topic/how-copilot-chat-works-with-and-without-a-microsoft-365-copilot-license-5810b659-fbe0-48ee-9fe6-d731fe86cdeb)

[365-copilot-license-5810b659-fbe0-48ee-9fe6-d731fe86cdeb](https://support.microsoft.com/en-us/topic/how-copilot-chat-works-with-and-without-a-microsoft-365-copilot-license-5810b659-fbe0-48ee-9fe6-d731fe86cdeb)

質問: **80**



図に示すように、Microsoft 365 Copilotを開きます。
順位に関する会話から、どのようなことが推測できますか？

- A. この会話には匿名データのみが含まれています。
- B. 会話には検証済みの回答が含まれています。
- C. 会話がノートブックに追加されました。
- D. 会話には予定されたプロンプトが含まれています。
- E. 会話が共有されました。

正解: **B** ([コメントを发表する](#))

Microsoft 365 Copilot アプリでは、会話リストに個々の会話タイトルの横にステータスインジケータを表示できます。図では、「Standings」会話の会話名の右側に、明確なインジケータ（緑色のバッジ）が表示されています。このバッジは、その会話に検証済みの回答が含まれていることを示すために使用されます。

検証済み応答インジケータは、ユーザーがより確固たる根拠とトレーサビリティに基づいて生成された出力（例えば、正確性を検証できる引用や参考文献を含む応答など）を迅速に認識できるようにすることを目的としています。これは、情報源に基づいた応答や検証済みの応答をより簡単に識別・検証できるようにすることで、AI出力への信頼性を向上させるというマイクロソフトのガイダンスに沿ったものです。

他のオプションは、表示されているインジケータと一致しません。共有またはノートブックに追加された会話は通常、異なる共有/ノートブックアイコンを使用し、スケジュールされたプロンプトは検証バッジではなく、スケジュール関連のインジケータで表示されます。「匿名データ」は、Copilot が会話レベルでこのようにマークするものではありません。

したがって、最も妥当な推論は、順位に関する会話には検証済みの回答が含まれているということである。

質問: 81

あなたはMicrosoft 365 Copilotライセンスをお持ちです。

あなたはPowerPointでCopilotを使用してビジネスプレゼンテーションを作成しています。

PowerPointでCopilotを使用すると、どのような2つのタスクを実行できますか？正解ごとに、完全なソリューションが示されています。

注：正解ごとに1ポイントが加算されます。

- A. スライド上の特定のオブジェクトにカスタムアニメーションを挿入します。
- B. プレゼンテーションの内容に基づいてスライドレイアウトを作成します。
- C. プレゼンテーションのデザインテーマを会社のブランディングに合わせてカスタマイズします。
- D. プレゼンテーションの要点を基にした要約スライドを作成してください。

正解: B,D ([コメントを发表する](#))

[B]

Microsoft 365 Copilot ライセンスを使用すると、ユーザーは PowerPoint の AI を活用して、プロンプトに基づいたコンテンツや既存のドキュメントから、スライドのレイアウトを自動的に作成、再構成、デザインできます。

Copilotは、視覚的に魅力的なカスタマイズされたスライドを作成し、画像を追加し、アウトラインを作成し、一貫性のあるプロフェッショナルなフォーマットを維持します。

PowerPointにおけるCopilotの主な機能は以下のとおりです。

コンテンツ作成 :テキストプロンプトからプレゼンテーション全体または個々のスライドを生成したり、Word文書やPDFを要約したりします。

*-> レイアウトとデザイン: SmartArt や画像などの適切なレイアウト、テーマ、および視覚要素を自動的に提案して適用します。

編集と改善 : 既存のスライドを書き直し、構成を見直し、フォーマットを変更して、物語の流れを改善します。

ファイル変換 : 例えば、プロジェクト提案書を構造化されたスライドデッキに直接変換します。

効率化機能 : プレゼンテーションの要約、スピーカーノートの作成、書式を維持したままのコンテンツ翻訳。

[D] PowerPoint の Microsoft 365 Copilot (ライセンスが必要です) は、プレゼンテーション内の最大 40,000 語を分析して、要約スライド、アクション項目、または高レベルの概要を即座に生成できます。

ホームタブの「パイロット」ボタンを選択してプロンプトを表示することで、ユーザーは長くて複雑な、または新しく作成されたデッキを瞬時に要約、再編成、または整理することができます。

PowerPointにおける要約のためのCopilotの主な機能 :

*-> 要約スライドの生成: Copilot ペインで「このプレゼンテーションを要約する」または「このプレゼンテーションを概要として要約する」などのプロンプトを使用して、重要なポイントに基づいて要約スライドを作成します。

アクション項目の特定 : コパイロットは、デッキから重要なポイントと必要なアクションを特定できます。

対象者に合わせてカスタマイズ : Copilotに依頼して、経営幹部など特定の対象者向けに要約をカスタマイズしてもらいましょう。

文脈分析 : Copilotはすべてのスライド、メモ、コンテンツをレビューし、簡潔で体系的な概要を提供します。

出典の明記 : Copilotは、プレゼンテーションの中で情報の出典を示す参考文献を提示しています。

簡単コピー&ペースト : 要約は簡単にクリップボードにコピーして、メールやその他の文書で使用できます。

正しくない :

[Cではない]

Microsoft 365 Copilot はコンテンツやレイアウトを生成するのに非常に強力ですが、

現在、全く新しいデザインテーマをゼロから「作成」または「カスタマイズ」する機能は制限されています。

Copilotが企業ブランディングとどのように連携するかを以下に説明します。

1. 既存のテンプレートを使用します

Copilotは、ブランドカラーやロゴをゼロから作り出すことはできません。そのため、既存のブランドテンプレートから始めるのが最も効果的です。

2. テーマを「デザイン」するものではありません

現在、スライドマスターに青とオレンジの16進数カラーコードが設定されていない場合、「テーマを会社の青とオレンジの16進数カラーコードに合わせて変更する」といったコマンドをCopilotに実行することはできません。まずは人間（またはデザイナー）がスライドマスターを設定する必要があります。

参照：

<https://www.mauriziolacava.com/en/microsoft-copilot-powerpoint-guide/>

<https://support.microsoft.com/en-us/office/summarize-your-presentation-with-copilot-in-powerpoint-499e604c-4ab9-4f6a-9dbe-691cc87f2f69>

質問: 82

以下の各記述について、正しい場合は「はい」を選択してください。そうでない場合は「いいえ」を選択してください。

注：正解ごとに1ポイントが加算されます。

Answer Area

Statements	Yes	No
You can add a Microsoft Teams chat as a knowledge source to a Microsoft 365 Copilot agent.	☐	☐
You can add a Microsoft 365 Copilot conversation as a knowledge source to a Copilot agent.	☐	☐
You can use an image file, such as a JPG file, as a knowledge source for a Microsoft 365 Copilot agent.	☐	☐

正解:

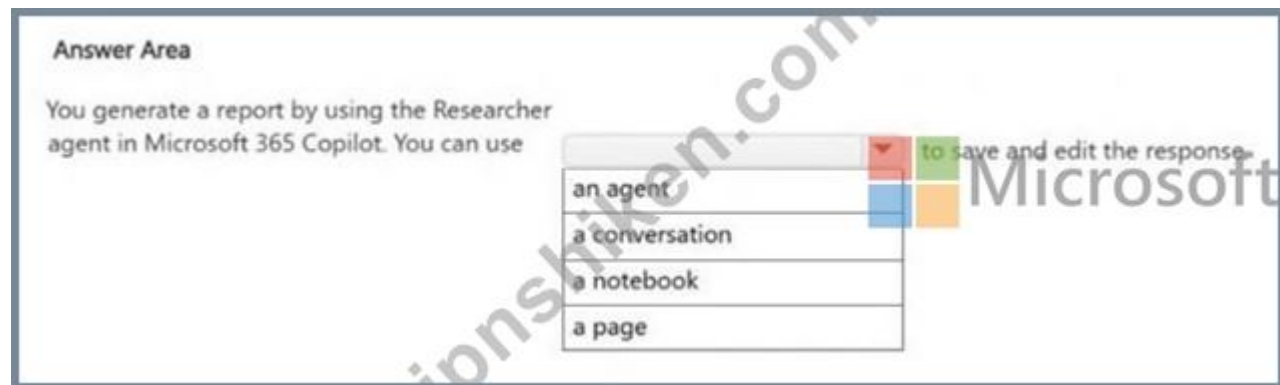
Answer Area

Statements	Yes	No
You can add a Microsoft Teams chat as a knowledge source to a Microsoft 365 Copilot agent.	☒	☐
You can add a Microsoft 365 Copilot conversation as a knowledge source to a Copilot agent.	☒	☐
You can use an image file, such as a JPG file, as a knowledge source for a Microsoft 365 Copilot agent.	☐	☒

質問: 83

ホットスポットに関する質問

文を正しく完成させる選択肢を選びなさい。



正解:



Explanation:

ボックス :ページ

Microsoft 365 Copilot の Researcher エージェントを使用してレポートを生成します。

_____ をクリックして回答を保存および編集します。

Microsoft 365 Copilot の Researcher エージェントによって生成されたレポートを保存および編集するには、主に Microsoft 365 Pages (Loop の一部) または Microsoft Word を使用する必要があります。

保存と編集のための主要ツール

*→ Microsoft 365 Pages :これは、研究者の出力結果を処理する最も統合された方法です。レポートが生成された後、回答のすぐ下にある Pagesで編集」を選択できます。これにより、チャットと並んで共同作業ページが作成され、チームとコンテンツを精査することができます。

Microsoft Word :レポートをWordに直接エクスポートして、プロフェッショナルな書式設定を適用したり、詳細な編集を行うことができます。これは、Pagesでの初期共同作業後によく推奨される手順です。

Microsoft PowerPoint: プレゼンテーションを作成する場合、PowerPoint Copilot機能を使用して保存済みのWord文書から直接スライドを生成したり、インターフェースでそのオプションが利用可能な場合はレポートをプレゼンテーションとしてエクスポートしたりできます。

新しいエクスポート形式：現在の展開バージョンによっては、レポートをPDF、インフォグラフィック、または音声概要としてエクスポートするオプションが表示される場合もあります。

有効的な**AB-730**問題集はJPNTTest.com提供され、**AB-730**試験に合格することに役に立ちます！JPNTTest.comは今最新**AB-730**試験問題集を提供します。JPNTTest.com AB-730試験問題集はもう更新されました。ここで**AB-730**問題集のテストエンジンを手に入れます。最新版のアクセス、<https://www.jpntest.com/shiken/AB-730-mondaishu> 113問、30%**ディスカウント**、特別な割引コード: **JPNshiken**」